

令和7年度定時総会

議 案 書

日 時 令和7年5月30日（金）
午後1時30分開会

場 所 江田島コミュニティセンター（3F集会室）
（江田島市江田島町小用二丁目17番1号）

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター

シルバー人材センター 基 本 理 念

自主 自分たちで考え

自立 自分たちでつくり育て

共働 一緒になって働き

共助 互いに助け合う

令和 7 年度 定時 総会 次第

1 開 会 の こ と ば

2 理 事 長 あ い さ つ

3 来 賓 祝 辞

4 議 長 選 出

5 定 足 数 報 告

6 報 告

第 1 号報告 令和 6 年度収支補正予算の件

7 議 事

第 1 号議案 役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を改正
する規程の件（追認）

第 2 号議案 役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を改正
する規程（案）の件

第 3 号議案 令和 6 年度事業報告及び令和 6 年度決算の承認並びに
監査報告の件

第 4 号議案 理事及び監事の選任の件

第 5 号議案 理事長に対する権限委任の承認の件

8 報 告

第 2 号報告 令和 7 年度事業計画の件

第 3 号報告 令和 7 年度収支予算並びに令和 7 年度資金調達及び設備
投資の見込みの件

9 そ の 他

10 閉 会 の こ と ば

----- 休 憩 -----

令和 7 年度 互 助 会 総 会

目 次

第 1 号報告	令和 6 年度収支補正予算の件	1
第 1 号議案	役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を改正 する規程の件(追認)	6
第 2 号議案	役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を改正 する規程(案)の件	1 5
第 3 号議案	令和 6 年度事業報告及び令和 6 年度決算の承認並びに 監査報告の件	1 8
第 4 号議案	理事及び監事の選任の件	6 1
第 5 号議案	理事長に対する権限委任の承認の件	6 3
第 2 号報告	令和 7 年度事業計画の件	6 4
第 3 号報告	令和 7 年度収支予算並びに令和 7 年度資金調達及び 設備投資の見込みの件	6 8

第 1 号報告

令和 6 年度収支補正予算の件

公益社団法人江田島市シルバー人材センターの令和 6 年度収支補正予算について、定款第 4 2 条第 1 項の規定に基づき、総会へ報告する。

令和 7 年 5 月 3 0 日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 渡 辺 高 久

収 支 補 正 予 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	118,697,000	14,500,000	133,197,000
受取配分金	77,638,000	15,000,000	92,638,000
受取材料費等	19,854,000	△ 5,000,000	14,854,000
受取事務費	21,205,000	4,500,000	25,705,000
指定管理事業等受託収益	3,081,000	0	3,081,000
指定管理事業等受託収益	3,081,000	0	3,081,000
労働者派遣事業等受託収益	1,268,000	0	1,268,000
労働者派遣事業等受託収益	1,268,000	0	1,268,000
受取会費	457,000	0	457,000
正会員受取会費	440,000	0	440,000
ゴールド会員受取会費	15,000	0	15,000
特別会員受取会費	1,000	0	1,000
賛助会員受取会費	1,000	0	1,000
受取補助金等	27,958,000	0	27,958,000
受取連合交付金	12,739,000	0	12,739,000
受取地方公共団体補助金	15,219,000	0	15,219,000
受取負担金	1,000	0	1,000
受取負担金	1,000	0	1,000
受取寄付金	1,000	0	1,000
受取寄付金	1,000	0	1,000
特定資産運用益	1,000	0	1,000
特定資産受取利息	1,000	0	1,000
雑収益	51,000	376,000	427,000
受取利息	1,000	0	1,000
受取保険金	1,000	376,000	377,000
雑収益	49,000	0	49,000
経常収益計	151,515,000	14,876,000	166,391,000
(2) 経常費用			
事業費	151,200,000	10,881,000	162,081,000
支払配分金	77,638,000	15,000,000	92,638,000
支払材料費等	19,854,000	△ 5,000,000	14,854,000
役員報酬	1,140,000	△ 470,000	670,000
給料手当	25,714,000	△ 1,000,000	24,714,000
臨時雇賃金	564,000	0	564,000
法定福利費	3,331,000	500,000	3,831,000

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額
退職給付費用	2,310,000	15,000	2,325,000
福利厚生費	49,000	0	49,000
会議費	40,000	0	40,000
旅費交通費	419,000	400,000	819,000
通信運搬費	1,822,000	0	1,822,000
減価償却費	1,427,000	0	1,427,000
什器備品費	2,000	32,000	34,000
消耗品費	816,000	100,000	916,000
修繕費	1,284,000	120,000	1,404,000
印刷製本費	718,000	0	718,000
光熱水料費	1,944,000	50,000	1,994,000
賃借料	2,075,000	220,000	2,295,000
保険料	1,520,000	0	1,520,000
諸謝金	3,108,000	30,000	3,138,000
租税公課	2,375,000	500,000	2,875,000
委託費	2,236,000	2,000	2,238,000
教材費	1,000	6,000	7,000
支払手数料	181,000	0	181,000
燃料費	488,000	0	488,000
損害賠償金	1,000	376,000	377,000
雑 費	143,000	0	143,000
管理費	2,555,000	51,000	2,606,000
役員報酬	252,000	44,000	296,000
給料手当	1,352,000	0	1,352,000
法定福利費	175,000	0	175,000
退職給付費用	30,000	0	30,000
福利厚生費	28,000	0	28,000
会議費	49,000	0	49,000
役員等旅費交通費	55,000	7,000	62,000
通信運搬費	60,000	0	60,000
減価償却費	5,000	0	5,000
消耗品費	5,000	0	5,000
印刷製本費	10,000	0	10,000
光熱水料費	44,000	0	44,000
租税公課	125,000	0	125,000
支払負担金	349,000	0	349,000
支払手数料	9,000	0	9,000
雑費	7,000	0	7,000
経常費用計	153,755,000	10,932,000	164,687,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,240,000	3,944,000	1,704,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,240,000	3,944,000	1,704,000

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,240,000	3,944,000	1,704,000
一般正味財産期首残高	23,241,735	0	23,241,735
一般正味財産期末残高	21,001,735	3,944,000	24,945,735
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	21,001,735	3,944,000	24,945,735

収支補正予算書に対する注記

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額
【投資活動の部】			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	1,000,000	2,000,000	3,000,000
消費税納付額増加対策資産取崩収入	1,000,000	2,000,000	3,000,000
投資活動収入計	1,000,000	2,000,000	3,000,000
(投資活動支出)			
特定資産取得支出	1,000,000	2,000,000	3,000,000
消費税納付額増加対策資金積立資産	1,000,000	2,000,000	3,000,000
投資活動支出計	1,000,000	2,000,000	3,000,000
【財務活動の部】			
(財務活動収入)			
財務活動収入計	0	0	0
(財務活動支出)			
財務活動支出計	0	0	0

第1号議案

役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の 一部を改正する規程の件（追認）

公益社団法人江田島市シルバー人材センターの役員の報酬等及び費用弁償に関する規程について、令和元年から理事会の承認を受け規程の改正を行い運用している4件の改正規程について、総会の議決（追認）が必要なため、公益社団法人江田島市シルバー人材センター定款第13条第2号の規定に基づき、総会の議決を求める。

令和7年5月30日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 渡 辺 高 久

追認 1

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び
費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の件（追認）

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を次のように改正する。

第 3 条を次のように改める。

第 3 条第 4 項の次に次の 1 項を加える。

5 前第 2 項及び前第 4 項の規定について、常勤役員が事務局長を兼ねる場合は、職員として職員給与規程を適用し、この規程を適用しない。

附 則

この規程は、公布の日から施行し、改正後の役員の報酬等及び費用弁償に関する規程は、令和元年 6 月 1 日から適用する。

役員の報酬等及び費用弁償に関する規程新旧対照表

改 正 前	改 正 後
略 (報酬等の支給) 第3条 センターは、役員の職務執行の対価として報酬を支給することができる。 2 常勤役員の報酬は月額とする。 3 非常勤役員の報酬は日額とする。 4 役員には役員賞与及び退職手当は支給しない。	略 (報酬等の支給) 第3条 センターは、役員の職務執行の対価として報酬を支給することができる。 2 常勤役員の報酬は月額とする。 3 非常勤役員の報酬は日額とする。 4 役員には役員賞与及び退職手当は支給しない。 5 前第2項及び前第4項の規定について、<u>常勤役員が事務局長を兼ねる場合は、職員として職員給与規程を適用し、この規程を適用しない。</u>
略	略 <u>附 則</u> <u>この規則は、公布の日から施行し、改正後の役員報酬等及び費用弁償に関する規程は、令和元年6月1日から適用する。</u>

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び
費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の件（追認）

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を次のように改正する。

第 3 条第 5 項の次に次の 1 項を加える。

- 6 第 3 項の非常勤役員のうち、特例として安全・適正就業推進員を兼ねる役員の報酬は月額とすることができる。

附 則

この規程は、公布の日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

役員の報酬等及び費用弁償に関する規程新旧対照表

改 正 前	改 正 後
(報酬等の支給) 第3条 略 2 略 3 略 4 略 5 略	(班長の役割) 第3条 略 2 略 3 略 4 略 5 略 6 <u>第3項の非常勤役員のうち、特例として安全・適正就業推進員を兼ねる役員の報酬は月額とすることができる。</u> <u>附 則</u> <u>この規程は、公布の日から施行し、令和2年4月1日から適用する。</u>

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び
費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の件（追認）

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を次のように改正する。

別表 2 の表中

- (1) 非常勤理事 「4, 000 円」を「3, 000 円」に
- (2) 監 事 「4, 000 円」を「3, 000 円」に改める。

附 則

この規程は、令和 5 年度総会議決の日から施行し、令和 5 年 6 月 1 日から適用する。

役員の報酬等及び費用弁償に関する規程 新旧対照表

改 正 前	改 正 後
略	略
別表2 非常勤役員の報酬日額	別表2 非常勤役員の報酬日額
(1) 非常勤理事 <u>4, 0 0 0</u> 円	(1) 非常勤理事 <u>3, 0 0 0</u> 円
(2) 監 事 <u>4, 0 0 0</u> 円	(2) 監 事 <u>3, 0 0 0</u> 円
略	略
	附 則 この規程は、令和5年度総会議決の日から施行し、令和5年6月1日から適用する。

追認 4

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び
費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の件（追認）

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬及び費用弁償
に関する規程の一部を次のように改正する。

第 2 条第 1 項第 2 号及び第 3 号を次のように改正する。

- (2) 常勤役員とは、総会で選任された理事のうち、定款第 22 条第 2 項
に規定する者で週 3 日以上センターの業務に従事する者をいう。
- (3) 非常勤役員とは、常勤役員以外の理事及び監事をいう。

附 則

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

役員の報酬及び費用弁償に関する規程新旧対照表

改 正 前	改 正 後
略 (定義等) 第2条 略 (2) 常勤役員とは、総会で選任された理事のうち、<u>センターを主たる勤務場所とし、週3日以上センターの業務に従事する者をいう。</u> (3) 非常勤役員とは、常勤役員以外の<u>者</u>をいう。	略 (定義等) 第2条 略 (2) 常勤役員とは、総会で選任された理事のうち、<u>定款第22条第2項に規定する者で週3日以上センターの業務に従事する者をいう。</u> (3) 非常勤役員とは、常勤役員以外の<u>理事及び監事</u>をいう。 <u>附 則</u> <u>この規程は、令和6年4月1日から施行する。</u>

第2号議案

役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の 一部を改正する規程（案）の件

公益社団法人江田島市シルバー人材センターの財政健全化を図るため、当分の間、副理事長を非常勤役員とするため、役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を改正したいので、公益社団法人江田島市シルバー人材センター定款第13条第2号の規定に基づき、総会の議決を求める。

令和7年5月30日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 渡 辺 高 久

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び
費用弁償に関する規程の一部を改正する規程（案）の件

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用弁
償に関する規程の一部を次のように改正する。

別表第 2 を次のように改める。

別表第 2 非常勤役員の報酬日額

(1)	副理事長	3,000 円
(2)	非常勤理事	3,000 円
(3)	監 事	3,000 円

附 則

この規程は、令和 7 年度総会議決の日から施行し、令和 7 年 6 月 1 日か
ら適用する。

公益社団法人江田島市シルバー人材センター役員の報酬等及び
費用弁償に関する規程新旧対照表

改 正 前	改 正 後
略	略
別表第2 非常勤役員の報酬日額	別表第2 非常勤役員の報酬日額
(1) 非常勤理事 3,000 円	(1) 副理事長 3,000 円
(2) 監 事 3,000 円	(2) 非常勤理事 3,000 円
	(3) 監 事 3,000 円
略	略
	<u>附 則</u> <u>この規程は、令和7年度総会議決の</u> <u>日から施行し、令和7年6月1日から</u> <u>適用する。</u>

第 3 号議案

令和 6 年度事業報告及び令和 6 年度決算の 承認並びに監査報告の件

令和 6 年度事業報告及び令和 6 年度決算の承認並びに監査報告について、公益社団法人江田島市シルバー人材センター定款第 43 条第 1 項の規定に基づき、総会の承認を求める。

令和 7 年 5 月 30 日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 渡 辺 高 久

令和6年度 事業報告

はじめに

令和6年度は、世界経済は観光業を中心に、活性化の流れが始まり、日本国内にも多くの外国人が入国し、経済の閉塞感が払しょくされ、どうにか経済が好循環を示しつつあります。

また、定額減税・政策金利の追加利上げ・働き方改革の施行など政府の経済対策により労働者の賃上げ政策が進みつつあり、大企業等における春闘では高い水準での賃上げが行われ、最低賃金も過去最高の上げ幅となりました。

反面、世界では、ロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエルのガザ地区侵攻等による戦闘の長期化及びトランプ政権の誕生によるアメリカの経済政策の変化によって、世界全体が不安定な状況にあり、世界経済は原油価格の高騰をはじめ、輸入原材料の高騰及び品薄及び円安の進行により、米をはじめとする国内製品価格の値上がりはとどまる様子はなく、国民の生活に大きな重しとなっています。

この状況下の中で、我々シルバー人材センターにおきましては、安定的な運営のためやむなく作業価格や事務比率の改定を行い健全財政の確保に努めてまいりました。

また、会員拡大の柱となるべき「会員拡大・就業開拓部会」及び「女性部会」の活動も、ようやく本来の目的に近い活動を実施することができました。

更には、真道山森林公園の指定管理を受注したことにより、同施設の活性化を図る目的として、本年度も真道山キャンプ場施設を利用し、地域の児童とシルバー人材センターの会員が、会員の持つ技術を生かして児童と交流する「児童夏休みミニキャンプ」を実施し、参加児童やその家族はもとより、参加会員が自ら企画し、行政の協力を得て一体となって実施したことは、大変意義深いものであり、高い評価を得ました。

他方、講習会等につきましては、予定通り実施し、安全教育については、安全・適正就業推進員を中心に、新規加入会員に対し「新規会員草刈作業講習会」を実施するとともに、伐木等の作業に用いるチェーンソー取扱講習の積極的な受講や、自動車運転を伴う一般作業従事者を対象に交通安全講習会を実施し、安全教育の徹底を図りました。

高齢者が安心して生きがいを持って働ける社会の一翼を担うために、役職員はもとより会員全員が一丸となって更なる創意工夫をしてまいります。

以下、各事業項目について考察してみました。

1 会員の増強

全国シルバー人材センター事業協会が政府の働き方改革に基づき強力的に進めているシルバー会員「100万人」構想は、コロナ感染症拡大による会員数の減少や継続雇用制度の改正により、その計画は大きく転換することとなり、令和7～12年度の6年間に会員数を10万人超純増させることとなりました。（70万人計画）

当シルバー人材センターにおいても随時入会説明会を開くなどして会員獲得に努めました。結果として、令和6年度末の会員数は199名となり、会員数が対前年に比して1名減となりました。

また、「シルバーの日」奉仕活動時においては、当市の観光地である長瀬海岸の海浜清掃を『幟旗』を掲出するとともに、シルバーネーム入りの安全ベストを着用し、元気で働くシルバー人材センターの活動をPRし、会員の拡大に努めました。

2 経営基盤の強化

(1) 持続可能な組織とするため、公益法人会計の運営指針を順守して健全財政に努めてまいりましたが、苦しい経営状態に変わりなく、支出の抑制に極力努め、収入の増加を図っているところです。しかしながら、市補助金の減額インボイス制度施行による消費税の増額により結果として、本年度は12万円余の赤字決算となりました。

(2) 「インボイス制度」施行に伴う、財政負担の影響を最小限にとどめるために、令和4年度から「消費税納付額増加対策資金」として特定費用準備資金積立を実施し、本年度は300万円の積立の取崩し及び300万円の積立を行いました。

加えて、江田島市及び国からの補助金減額を受けて、持続可能な財政運営を行うために、やむなく、作業価格や事務比率の改定を行いました。

今後、一層の財政健全化を図ってまいります。

3 安心・安全作業の徹底

(1) 『いつまでも 働く幸せ 忘れずに 過信禁物 事故用心』のスローガンのもと、安全・適正就業推進員により「安全だより」を毎月発行するとともに班毎に安全ルールを自ら設定し、毎月遵守できているか評価する安全宣言活動を実施する等、班長会議等を通じ、安全意識の向上と事故の未然防止を

徹底しました。

今後も、会員の安全教育を通じて「安全第一」の意識改革に最大限努力を重ねてまいります。

- (2) 安全・衛生の重要性に鑑み、7月の「安全・衛生講習会」には、広島県労働基準協会 安全衛生エキスパートを講師として招へいし、会員への安全教育を図りました。

4 事業実施について

(1) 就業機会の提供

過疎化が進行中の当市において、会員の確保については、「第3次中期事業推進計画」のもと努力していますが、一朝一夕には解決できる事柄ではないため、今後も引き続き尽力してまいります。また、市役所・民間事業所及び個人からの受注については、これを会員の能力・希望職種に応じて請負・委任又は派遣という形態に即した就業制度を提供してまいりました。

特筆すべきものとして

ア 真道山森林公園キャンプ場の指定管理による受託（令和6年度以降も受託）

イ 海岸漂着物清掃業務の市からの受託

ウ 山本倶楽部（旧江田島オリーブ株式会社）からの除草等オリーブ管理業務受託

エ 盆灯ろう作りの実施（独自事業）

オ その他

（ア） ハーフボランティア活動の実施

（イ） 剪定作業従事者等の後継者育成を目的とした講習会

（ウ） 事務局だよりによる就業情報の提供（隔月発行）

(2) 就業機会について

会員の就業満足度の向上及び健康増進を図り、活力ある地域社会構築に寄与し、就業機会開拓のため、次の事業を行いました。

ア 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施

イ 適正就業（臨・短・軽）の周知徹底

ウ 未就労会員を抽出し、就労機会を付与

5 就業に必要な知識・技能及び安全・安心作業の実施について

(1) 県連合等の主催による講習会

ア	安全就業担当者研修会	
	令和6年7月19日（金）	4名参加
イ	こども預かり基礎講座	
	令和6年7月19日（金）	10名参加
ウ	実務担当者研修会	
	令和6年9月20日（金）	3名参加
エ	中国ブロックシルバー人材センター連合協議会 役職員研修会	
	令和6年10月29日（火）～30日（水）	3名参加
オ	派遣元責任者講習会	
	令和6年11月12日（火）	1名参加
カ	新任理事長研修	
	令和6年11月14日（木）～15日（金）	1名参加
キ	令和6年度適正就業担当者会議	
	令和6年11月15日（金）	3名参加
ク	公益法人等制度改革説明会	
	令和6年11月21日（木）	1名参加
ケ	やまぐちシルボンヌフェスティバル	
	令和6年11月25日（月）	1名参加
コ	理事長研修・交流会	
	令和6年12月11日（水）	1名参加
サ	職業紹介責任者講習会	
	令和6年12月17日（火）	1名参加
シ	福祉・家事援助サービス研修会	
	令和7年1月30日（木）	2名参加
ス	安全就業指導員会議（オンライン）	
	令和7年2月3日（月）	1名参加
セ	中堅職員研修会	
	令和7年2月18日（火）～19日（水）	1名参加

(2) 自主事業による講習会

ア	乗合バス利用実態調査講習会	
	令和6年6月11日（火）	11名参加

イ	第1回刈払機取扱講習会	
	令和6年6月24日（月）	9名参加
ウ	安全衛生講習会	
	令和6年7月5日（金）	59名参加
エ	交通安全講習会	
	令和6年10月28日（月）	30名参加
オ	剪定講習会	
	令和7年3月12日（水）～13日（木）	24名参加

6 その他の諸活動

(1) 普及啓発活動

- ア 広報誌「きらめき」の発行（7月1日号、1月1日号）
- イ 全国的に実施される「シルバーの日」奉仕活動の実施（10月第3土曜日）
- ウ ホームページ（<http://etajima-sc.com/>）を活用したPR
- エ 生活援助サポート事業（ワンコインサービス・企画提案方式）の継続実施

(2) 安全・適正就業推進活動

- ア 受託時に気を付けること
 - (ア) 適正な受託のためのフローチャート票（県連合発行）活用
 - (イ) 請負業務の積算勉強会の実施
- イ 会員に安全就業の必要性を周知徹底
 - (ア) 班長会議等を通じて安全衛生教育の徹底
 - (イ) 班長会議等を通じて適正就業の徹底
 - (ウ) 班長会議等を通じて物損・人身事故発生報告及び原因分析並びに再発防止のための周知徹底
- ウ 就業内容に合わせた安全防護装具（ヘルメット・防護メガネ・防振手袋）等の完全着用義務の推進
- エ 就業前の準備運動等実施
- オ 安全パトロールの実施及び安全就業講習会の開催
 - (ア) 安全委員会委員等による安全パトロールの実施
 - (イ) 安全就業講習会の実施
- カ ヒヤリハット事例の水平展開と周知徹底
 - 危険個所の抽出及び毎月安全教育の実施

キ 健康診断の受診奨励

日々の健康状態の把握に努め、年1回の定期的な健康診断受診を奨励

7 法人管理事業

(1) 総会及び会議の開催

総会及び理事会等を定款に定められたものを事業状況のとおり開催しました。また、加盟している上部団体が主催する研修会等には、開催がオンラインのものもありましたが、極力参加しております。

(2) その他

令和6年度も、第3次中期事業推進計画（令和4年～令和8年）に基づき事業を実施しました。

事業状況

1 就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、会員にふさわしい地域に密着した仕事を家庭・民間事業所・官公庁から受注し、これを会員に対して、その能力・希望等に応じて請負又は委任、更には派遣という形式により提供しました。

(1) 事業実績の現状

契約件数は、前年度1,864件に対し、1,619件と245件減でした。契約金額では、前年度108,511,288円に対し、19,680,634円増の128,191,922円となりました。

契約金額が対前年度より増額となった主なものは、作業価格・事務費の改定及び宿日直業務の受託によるものです。

また、配分金については、就業延べ人数が前年度1,354人増加し、前年度75,680,400円に対し、16,902,614円増の92,583,014円となりました。

(2) 未就業会員の解消、就業会員の増強

就業率は81.5%（派遣のみ就業している会員8名を含む。）となり、前年度の78.0%を上回っています。また、会員数は新入会員28名、退会会員29名で、昨年の200名（特別会員1名を含む。）より1名減員の199名になりました。退会の主な理由は、死亡2名病気8名、加齢2名、転居1名、他に

就職 4 名、その他 12 名、であり、自分や家族の病気など健康上の理由等によるもの 48%、自分に合った就業機会がなかったこと、他へ就職したもの 17% で、この 2 つで全体の 65%を占めています。

(3) 就業情報の提供と就業機会の再分配

ア 就業情報の提供

(ア) 事務局だよりによる就業情報（年 6 回発行）

(イ) 個別連絡による紹介

イ 就業機会の再分配

(ア) 就業のローテーション

(イ) 個別調査による再配分

(4) 新しいシルバー像、多様な就業ニーズの把握

ア 各種イベント等に積極的に参加し、シルバー人材センターを P R するとともに、新規会員の加入促進に努め、会員の増強を図りました。

イ 理事や一般作業班長等を中心に会員の状況把握、連絡、新規会員の加入促進等、職種に応じた配員に努め、会員の増強を図りました。

ウ 班長会議等を通じて、新規会員の加入促進の必要性和現状説明を実施し、多様な就業ニーズの促進を図りました。

(5) 女性会員の入会促進

5 名の新規会員が入会されたものの、病気等を理由に 4 名が退会され、現会員数は 4 6 名になりました。

(6) 地域社会への貢献

ア 地域社会と連携し、期待される役割を果たしました。（生活援助サポート事業：ワンコインサービス・企画提案方式）実績件数：1, 244 回

イ 継続事業として、江田島湾等における海岸漂着物等清掃業務を市から請負、4 月から 2 月までの間実施し、63, 750 kg の漂着物を回収しました。

(7) 真道山森林公園キャンプ場管理業務（指定管理制度）

(8) 盆灯籠づくり（独自事業）は、延べ人員 235 名で、1, 380 本製作しました。

2 雇用による就業

会員の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため就業機会の提供を行いました。

(1) 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の推進

ア 高齢者の知識や経験を活かした多様な就業機会の確保に努め、江田島市地域支援課からの犬猫搬送業務、保健医療課からの住民健診事業等に係る送迎業務、（株）ベストナビからの沖美マンション別荘清掃業務、水みらい（株）からの浄水場管理業務を受注しております。

その結果、契約数 14 件、契約金額 9,788,092 円と対前年より、件数で 6 件増、契約金額は 1,050,818 円の減額となりました。

イ 適正就業の推進

(ア) シルバー人材センター事業の適正かつ効果的な運営

(イ) 「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」の範囲において行うよう努力しました。

(2) 職業紹介事業

適正就業に沿って会員の就業・雇用を第一に考慮し、職業紹介を推進しました。

3 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

地域での就業に適した仕事が存在していても、それを行うために必要な能力が会員の有する技能、経験によりカバーされていないものであった場合には、実際の就業に結びつかないことがあるため、就業上必要な技能、知識を就業意欲のある会員に付与することが必要です。

就業に必要な知識及び技能を付与するための講習を実施し、実際の就業に結びつけるとともにより広い就業分野での仕事の確保と提供を行い、会員の生きがいの充実と福祉の向上を図り、活力ある地域社会づくりに貢献しました。

就業機会確保の一環として、県連合主催の福祉・家事援助サービス研修会に 2 名の会員が参加しました。

加えて、当シルバー人材センターの独自事業として、安全衛生講習会を実施しました。

今回は、外部講師として広島県労働基準協会・広島県西部保健所呉支所から講師を招へいし、「高齢者の労働災害防止講習会」・「高齢者の健康増進講習会」を開催、多くの会員が参加しました。

また、新規加入会員を対象として「刈払機取扱講習会」を 1 回実施しました。

更に、交通安全講習会についても、講師を招へいし実施しました。

剪定講習会については、シルバー人材センターを広く市民の方に知っていただく普及啓発活動を含めて実施した結果、10名の市民の方々の参加を得ることができました。

- | | |
|---------------------|-------|
| (1) 乗合バス利用実態調査講習会 | |
| 令和6年6月11日(火) | 11名参加 |
| (2) 第1回刈払機取扱講習会 | |
| 令和6年6月24日(月) | 9名参加 |
| (3) 安全衛生講習会 | |
| 令和6年7月5日(金) | 59名参加 |
| (4) 交通安全講習会 | |
| 令和6年10月28日(月) | 30名参加 |
| (5) 海田町SC視察研修 | |
| 令和6年11月18日(月) | 31名参加 |
| (6) シルボンヌ全国大会(山口県) | |
| 令和6年11月25日(月) | 1名参加 |
| (7) 剪定講習会 | |
| 令和7年3月12日(水)～13日(木) | 24名参加 |

慢性的に技術者不足の剪定講習会を広報誌等に掲載し、会員及び広く一般市民に参加を呼びかけ併せて会員の募集も実施した。

4 社会参加を推進するための諸活動

(1) 普及啓発活動

ア 広報誌「きらめき」の発行(7月1日号、1月1日号)

イ 「シルバーの日」ボランティア活動 45名参加 令和6年10月19日(土)実施

ウ 各種イベントへの参加

今年度は、一部中止となったイベントもありましたが、各種イベントに参加し、シルバー人材センターの普及啓発活動を行いました。

エ ホームページ(<http://etajima-sc.com/>)を活用したPR

オ 事務局だよりの発行(奇数月:年6回)

カ 生活援助サポート事業(ワンコインサービス・企画提案方式)

キ 環境保全美化推進事業（剪定・枝葉チップリサイクル事業）

（ア） チップ化した製品を江田島市シルバーワークプラザの窓口等で市民に配布

（イ） 農地の土壌改良として多くの市民に提供

（ウ） カブト虫の育成・桜チップの製造、提供

（エ） 薪を製作し、真道山キャンプ場及び一般へ提供

（オ） 年間処理量：113,518 kg

（カ） すべての法規制に適合した構造基準適合型焼却炉による 100%天然木灰の提供（令和元年度からの構造基準適合型焼却炉の導入により、「市民等の枝木の伐採→薪・チップ・薪にもチップにも出来ないものは天然木灰→薪、チップ、堆肥として市民等へ提供」という完全リサイクル体制が整いました。）

ク 児童夏休みミニキャンプ（令和6年7月28日実施）

参加児童 13名

従事会員 15名 職員 8名

(2) 安全・適正就業推進活動

ア 会員に安全就業の必要性を徹底

（ア） 一般作業班を対象に年 12 回の一般作業班長連絡会議及び年 2 回開催の班長会議等を通して、安全・適正就業推進員を中心に安全就業の必要性を周知徹底

（イ） 物損、人身事故防止及びその原因分析、報告書の提出、保険による費用弁償の実施

（ウ） 安全用具の着用義務（ヘルメット及び雑木伐採作業時のチャップス着用の徹底）

イ 就業内容に合わせた防護装具の整備

ウ 就業前打合せ

就業する前には、就業に関する事前打ち合わせの実施

エ 安全パトロールの実施、安全講習会の開催

（ア） 安全パトロール年 7 回、安全委員会年 2 回開催

（イ） 安全衛生講習会

本年度は、外部講師として、広島県労働基準協会及び広島県西部保健所から講師を招いて安全衛生講習会を実施しました。

オ 健康診断の受診推進

“自分の健康は自分で守る”を合言葉に、日々の健康状況の把握に努め、年 1 回は健康診断を受けるよう広報誌や班長会議等を通じて推進

- カ ヒヤリハット事例を含めた安全教育を班長会議等で実施
- キ 熱中症予防策及び有毒動植物に対する応急処置等を班長会議等で紹介
- ク A E D の点検及び使用方法の確認

会 議 等 の 状 況

1 会 議

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
総 会	定時総会 R 6 . 5 . 3 1 (江田島コミュニ ティーセンター)	1 令和 5 年度収支補正予算の件 2 令和 5 年度事業報告及び令和 5 年度決算の承認並びに監査報告の件 3 理事及び監事の選任の件 4 理事長に対する権限委任の承認の件 5 令和 6 年度事業計画の件 6 令和 6 年度収支予算並びに令和 6 年度資金調達及び設備投資の見込みの件
理 事 会	第 1 回 R 6 . 5 . 1 0 (ワークプラザ)	1 令和 5 年度事業報告及び令和 5 年度決算の承認並びに監査報告の件 2 理事及び監事候補者の推薦の件 3 理事長に対する権限委任の承認の件 4 重要な職員の任免の承認の件 5 令和 6 年度定時総会招集日時、場所等の決定の件 6 新規加入会員の承認の件 7 職務の執行状況報告の件 8 公益社団法人江田島市シルバー人材センター年間実績・予定表について 9 その他
	第 2 回 (臨 時) R 6 . 5 . 3 1 (江田島コミュニ ティーセンター)	1 理事長、副理事長及び常務理事の選任の件
	第 3 回 R 6 . 7 . 8 (書面決議)	新規加入会員の承認
	第 4 回 R 6 . 8 . 2 7 (ワークプラザ)	1 専決処分（令和 6 年度収支補正予算（第 1 号））の報告と承認の件新規加入会員の承認の件 2 令和 6 年度収支補正予算（第 2 号）（案）の件 3 新規加入会員承認の件 4 1／四半期予算及び業務執行状況監査報告の件

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
理 事 会	第 4 回 R 6 . 8 . 2 7 (ワークプラザ)	5 職務の執行状況報告の件 6 令和 6 年度公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議に係る要請行動の件
	第 5 回 R 6 . 9 . 1 9 (書面決議)	新規加入会員の承認
	第 6 回 R 6 . 1 0 . 2 9 (書面決議)	新規加入会員の承認
	第 7 回 R 6 . 1 1 . 2 6 (ワークプラザ)	1 令和 6 年度収支補正予算 (第 3 号) (案) の件 2 2 / 四半期予算及び業務執行状況監査報告の件
	第 8 回 R 6 . 1 2 . 1 7 (書面決議)	新規加入会員の承認
	第 9 回 R 6 . 1 2 . 2 4 (書面決議)	新規加入会員の承認
	第 1 0 回 (臨 時) R 7 . 1 . 3 0 (ワークプラザ)	1 新たな契約方法等について
	第 1 1 回 (臨 時) R 7 . 2 . 2 8 (ワークプラザ)	1 江田島市と空家等の適正管理の促進に関する協定締結の件 2 理事及び監事候補者選考要綱の一部を改正する要綱の件 3 3 / 四半期予算及び業務執行状況監査報告の件
	第 1 2 回 R 7 . 3 . 2 4 (ワークプラザ)	1 令和 6 年度収支補正予算 (第 4 号) の件 2 シルバー人材センター利用規約の制定の件 3 会員業務就業規約の制定の件 4 配分金見積基準の改定 (案) の件 5 事務費規程の全部を改正する規程 (案) の件 6 配分金規約の一部を改正する規約 (案) の件 7 職員給与規程の一部を改正する規程 (案)

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
理 事 会	第 1 2 回 R 7 . 3 . 2 4 (ワークプラザ)	の件 8 再雇用職員給与規程の一部を改正する規程(案)の件 9 短時間勤務職員就業規則の一部を改正する規則(案)の件 10 嘱託職員就業規則の一部を改正する規則(案)の件 11 理事長の報酬月額の改正について(案)の件 12 役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程(案)の件 13 役員等賠償責任保険契約等の件 14 令和7年度事業計画(案)の件 15 令和7年度収支予算書(案)並びに令和7年度資金調達及び設備投資の見込みの件 16 新規加入会員の承認の件 17 臨時職員の取扱要綱の一部を改正する要綱の件 18 職務の執行状況報告の件
監 査 等	R 6 . 5 . 1 (ワークプラザ)	令和5年度監査
	R 6 . 7 . 2 5 (ワークプラザ)	1 / 四半期監査
	R 6 . 1 0 . 2 2 (ワークプラザ)	2 / 四半期監査
	R 7 . 1 . 2 7 (ワークプラザ)	3 / 四半期監査
会員拡大・ 就業開拓部会	第 1 回 R 6 . 9 . 2 5 (ワークプラザ)	第 1 回会員拡大・就業開拓部会 1 理事長あいさつ 2 部会員自己紹介 3 部会長及び副部会長互選 4 部会員の推薦について 5 部会活動について(自由意見)
	R 6 . 1 1 . 1 8 (海田町シルバー人材センター)	先進地視察研修 1 独自事業について 2 作業状況視察

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
会員拡大・ 就業開拓部会	第2回 R 7 . 2 . 2 5 (ワークプラザ)	第2回会員拡大・就業開拓部会 1 部会長あいさつ 2 アンケート内容に基づく協議 3 部会活動について (自由意見)
女 性 部 会	第1回 R 6 . 8 . 2 1 (ワークプラザ)	第1回女性部会 1 理事長あいさつ 2 部会員自己紹介 3 部会長及び副部会長互選 4 女性会員の現状について 5 部会活動について (自由意見)
	R 6 . 1 1 . 1 8 (海田町シルバー 人材センター)	先進地視察研修 1 独自事業について 2 作業状況視察
	やまぐちシルボ ンヌフェスティ バル R 6 . 1 1 . 2 5 (山 口 市 KDDI 維新ホール)	1 プロローグ 「やまぐちシルボンヌ」 紹介 動画 上映 2 開 会 / 式 典 3 基調講演 安藤和津 氏 「明日を素敵に生きるには」 4 パネルディスカッション テーマ「シルボンヌとして働く喜び」 コーディネーター 山口大学ダイバーシ ティー推進室長 鍋山祥子教授 パネリスト 会員、企業関係者等
安全委員会	R 6 . 5 . 1 5 (作業現場)	安全パトロール (理事長、副理事長、事務局 長、安全委員長、安全副委員長、業務担当職員、 安全・適正就業推進員)
	R 6 . 6 . 1 7 (ワークプラザ)	第1回安全委員会 1 理事長あいさつ 2 安全委員会委員長挨拶 3 令和6年度安全委員会取組について (1) 令和6年度安全・適正就業年間行事予定 (2) 令和6年度「安全・適正就業強化月間」 の取組み (3) 令和6年度安全衛生講習会開催の件 (4) 江田島市シルバー人材センター「安全・ 適正就業基準」の見直し 4 その他
	R 6 . 6 . 2 4 (ワークプラザ)	刈払機取扱作業安全衛生講習会 (新規加入会員・未受講者)

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
安 全 委 員 会	R 6 . 7 . 5 (江田島コミュニティセンター)	安全衛生講習会
	R 6 . 7 . 17 (作業現場)	安全パトロール(理事長、安全委員、安全指導員、業務担当職員、安全・適正就業推進員)
	R 6 . 8 . 9 (作業現場)	安全パトロール(事務局長、安全委員、安全指導員、業務担当職員、安全・適正就業推進員)
	R 6 . 9 . 13 (作業現場)	安全パトロール(理事長、事務局長、安全委員、安全指導員、業務担当職員、安全・適正就業推進員)
	R 6 . 10 . 16 (作業現場)	安全パトロール(事務局長、安全指導員、業務担当職員、安全・適正就業推進員)
	R 6 . 10 . 28 (ワークプラザ)	交通事故防止安全講習会
	R 6 . 12 . 20 (作業現場)	安全パトロール(理事長、安全委員長、安全副委員長、事務局長、安全指導員、業務担当職員、安全・適正就業推進員)
	R 7 . 2 . 26 (ワークプラザ)	第2回安全委員会 1 令和6年度安全委員会取組まとめと令和7年度取組計画 ① 令和6年度安全衛生目標、実績と活動状況 ② 令和6年度各目標に対する課題/原因/対策案 ③ 令和7年度目標(案)と重点活動(案) 2 その他
	R 7 . 3 . 7 (作業現場)	安全パトロール(事務局長、業務担当職員、安全・適正就業推進員)
広 報 委 員 会	第1回 R 6 . 6 . 7 (ワークプラザ)	1 理事長あいさつ 2 「きらめき」第64号の掲載記事について 3 その他
	第2回 R 6 . 7 . 25 (ワークプラザ)	1 委員長あいさつ 2 「きらめき」第64号の合評について 3 「きらめき」第65号の掲載記事について 4 その他
	第3回 R 6 . 11 . 28 (ワークプラザ)	1 委員長あいさつ 2 「きらめき」第65号掲載記事について 3 その他

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
広 報 委 員 会	第 4 回 R 7 . 1 . 2 8 (ワークプラザ)	1 委員長あいさつ 2 「きらめき」第 65 号掲載記事について 3 「きらめき」第 66 号掲載記事について 4 その他
班 長 会 議	第 1 回 R 6 . 4 . 2 6 (ワークプラザ)	1 理事長年度初頭あいさつ 2 事務局長年度初頭挨拶 3 議 題 (1) 安全衛生関係 ア 令和 6 年度安全衛生管理推進計画の取組みについて ・ 2 0 2 4 年度安全衛生管理推進計画の基本的な考え方 ・ 2 0 2 4 年度安全衛生管理推進計画 イ 安全衛生活動実績報告 ウ 過去 3 年間の災害・事故分析 エ 5 月の「安全だより」 オ 全シ協 令和 6 年 3 月分安全就業ニュース カ 熱中症予防について キ 事故速報（切り落とした枝でお墓のロウソク立て破損） (2) 請負業務 “見積契約の再確認について ” (3) 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第 2 回 R 6 . 1 0 . 2 8 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ア 安全衛生活動実績（含む事故報告） イ 刈払機事故の再発防止について ウ 安全宣言活動状況報告 エ 安全パトロール結果報告 オ 令和 6 年 1 1 月の「安全だより」 カ 全シ協 令和 6 年 9 月安全就業ニュース キ シルバー車両運行管理の協力依頼 「緊急時対応マニュアル」と「新車両運行票」の紹介 ク 交通事故防止及び防犯連絡 ケ 班長アンケート 2 請負業務関係

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
班 長 会 議	第 2 回 R 6 . 1 0 . 2 8 (ワークプラザ)	業務からの連絡事項 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他
一般作業班長 連絡会議	第 1 回 R 6 . 4 . 2 6 (ワークプラザ)	1 理事長年度初頭あいさつ 2 事務局長年度初頭挨拶 3 議 題 (1) 安全衛生関係 ア 令和 6 年度安全衛生管理推進計画の取 組みについて ・ 2 0 2 4 年度安全衛生管理推進計画の 基本的な考え方 ・ 2 0 2 4 年度安全衛生管理推進計画 イ 安全衛生活動実績報告 ウ 過去 3 年間の災害・事故分析 エ 5 月の「安全だより」 オ 全シ協 令和 6 年 3 月分安全就業ニュー ース カ 熱中症予防について キ 事故速報（切り落とした枝でお墓のロ ウソク立て破損） (2) 請負業務 “見積契約の再確認について ” (3) 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第 2 回 R 6 . 5 . 2 4 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生 ア 安全衛生活動実績報告 イ 江田島市シルバー人材センターと他セン ターの安全比較 ウ 6 月の「安全だより」 エ 全シ協令和 6 年 4 月分安全就業ニュース オ 交通安全関係のお知らせ（運転前後アル コールチェック，自転車保険他） カ <協議事項>：安全パトロール結果報告 と今後の対応 キ <協議事項>：ヒヤリハット事例⇒安全 作業推進に関するしくみ変更 ク 損害事故（再発防止事項）連絡

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
一般作業班長 連絡会議	第2回 R 6 . 5 . 2 4 (ワークプラザ)	2 請負業務関係 会員要望事項の把握と対応 3 意見・要望及び質疑応答 4 その他 連絡事項
	第3回 R 6 . 6 . 2 8 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ア 安全衛生活動実績（含む事故報告） イ 全シ協 令和6年度「安全・適正就業強化月間」実施要領 ウ 当センターの「安全・適正就業強化月間」の取組（案） エ 刈払機飛石対策及び三脚踏み棧赤テープの報告と今後の対応 オ 令和6年7月の「安全だより」 カ 令和6年5月の安全就業ニュース キ 交通事故防止連絡 2 請負業務関係 ア 会員要望事項の対応について イ リレーセンターへのごみの持ち込みについて 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第4回 R 6 . 7 . 2 6 (ワークプラザ)	議 題 1 前回の意見・宿題等の回答 2 安全衛生関係 ア 安全衛生活動実績（含む事故報告） イ 熱中症予防について ウ 安全宣言活動状況 エ 安全パトロール結果報告 オ 令和6年8月の「安全だより」 カ 令和6年6月の安全就業ニュース キ 交通事故防止連絡 3 請負業務関係 業務からの連絡事項 4 質疑応答及び意見・要望 5 その他

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
一般作業班長 連絡会議	第 5 回 R 6 . 8 . 2 3 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ア 安全衛生活動実績 (含む事故報告) イ 安全宣言活動状況 ウ 安全パトロール結果報告 エ 令和 6 年 9 月の「安全だより」 オ 令和 6 年 7 月の安全就業ニュース カ 交通事故防止連絡 キ チェーンソー特別講習の募集 2 請負業務関係 業務からの連絡事項 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第 6 回 R 6 . 9 . 2 6 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ア 安全衛生活動実績 (含む事故報告) イ 安全宣言活動状況 ウ 安全パトロール結果報告 エ 令和 6 年 1 0 月の「安全だより」 オ 全シ協 令和 6 年 8 月安全就業ニュース カ シルバーが手がける家庭ゴミ収集運搬について キ シルバー車両運行管理の協力依頼 ク 交通事故防止連絡 他 2 請負業務関係 業務からの連絡事項 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第 7 回 R 6 . 1 0 . 2 8 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ア 安全衛生活動実績 (含む事故報告) イ 刈払機事故の再発防止について ウ 安全宣言活動状況報告 エ 安全パトロール結果報告 オ 令和 6 年 1 1 月の「安全だより」 カ 全シ協 令和 6 年 9 月安全就業ニュース キ シルバー車両運行管理の協力依頼 「緊急時対応マニュアル」と「新車両運行票」の紹介

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
一般作業班長 連絡会議	第 7 回 R 6 . 1 0 . 2 8 (ワークプラザ)	ク 交通事故防止及び防犯連絡 ケ 班長アンケート 2 請負業務関係 業務からの連絡事項 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第 8 回 R 6 . 1 1 . 2 2 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ア 安全衛生活動実績 (含む事故報告) イ 安全宣言活動状況報告 ウ 令和 6 年 1 2 月の「安全だより」 エ 全シ協 令和 6 年 10 月安全就業ニュース オ 交通事故防止 (飲酒運転及び自転車関係 (法改正)) カ 班長アンケートの結果について (口頭) 2 請負業務関係 業務からの連絡事項 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第 9 回 R 6 . 1 2 . 2 5 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ① 安全衛生活動実績 (含む事故報告) ・転倒災害 ・他災害事例紹介 (剪定時墜落) ② 安全宣言活動状況報告 ③ 安全パトロール結果報告 ④ 改造防護ネットについて ⑤ 令和 7 年 1 月の「安全だより」 ⑥ 全シ協 令和 6 年 11 月安全就業ニュース ⑦ 交通事故防止及び防犯 ⑧ シルバー車両運行管理表の改訂について 2 請負業務関係 業務からの連絡事項 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第 10 回 R 7 . 1 . 2 4 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ① 安全衛生活動実績 (含む事故報告) ・飛石事故

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
一般作業班長 連絡会議	第 10 回 R 7 . 1 . 2 4 (ワークプラザ)	② 改造防護ネットについて ③ 安全宣言活動状況報告 ④ 令和 7 年 2 月の「安全だより」 ⑤ 全シ協 令和 6 年 12 月安全就業ニュース ⑥ 交通事故防止及び防犯 2 請負業務関係 業務からの連絡事項 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第 11 回 R 7 . 2 . 2 1 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ① 安全衛生活動実績（含む事故報告） ② 安全宣言活動状況報告 ③ 令和 7 年 3 月の「安全だより」 ④ 全シ協 令和 7 年 1 月安全就業ニュース ⑤ 衛生（健康）関係のお知らせ ・衛生だより 1, 衛生だより 2 ・普通救急救命講習（提案） ⑥ 交通事故防止及び防犯 2 請負業務関係 業務からの連絡事項 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他
	第 12 回 R 7 . 3 . 2 1 (ワークプラザ)	議 題 1 安全衛生関係 ① 安全衛生活動実績（含む事故報告） ② 安全宣言活動状況報告 ③ 3 月安全パトロール結果報告 ④ 2024 年度安全衛生推進管理計画総括 ⑤ 2025 年度安全衛生推進管理計画（案） ⑥ 「刈刃の選定と区画についてのガイドラ イン」見直し ⑦ 令和 7 年 4 月の「安全だより」 ⑧ 全シ協 令和 7 年 2 月安全就業ニュース ⑨ 交通事故防止及び防犯 2 請負業務関係 業務からの連絡事項 3 質疑応答及び意見・要望 4 その他

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
入 会 説 明 会	毎月 第 2 火曜日 (ワークプラザ)	新規加入会員希望者への説明 指定日以外にも随時実施
研 修 会	R 6 . 6 . 1 9 (広島市)	県連合定時総会
	R 6 . 6 . 2 0 (書面決議)	全シ協定時総会
	R 6 . 7 . 1 9 (広島市)	令和 6 年度安全就業担当者研修会
	R6.8.13~8.26 (オンライン)	令和 6 年度会員拡大就業開拓担当者会議
	R 6 . 9 . 2 0 (広島市)	令和 6 年度実務担当者研修会
	R6.10.29~10.30 (松江市)	令和 6 年度中国ブロック役職員研修会
	R6.11.11~12.10 (オンライン)	シルバー事業情報交換会議
	R 6 . 1 1 . 1 5 (広島市)	令和 6 年度実務担当者研修会
	R 6 . 1 1 . 2 5 (山口市)	やまぐちシルボンヌフェスティバル
	R 6 . 1 2 . 1 1 (広島市)	県連合理事長会議・研修会
	R 7 . 1 . 3 0 (広島市)	福祉・家事援助サービス研修会
	R 7 . 2 . 3 (オンライン)	安全就業指導員会議
	R7.2.18~2.19 (東京都)	令和 6 年度中堅職員研修
講 習 会	R 6 . 7 . 4 (沖美ふれあい センター)	安全運転管理者講習
	R 6 . 7 . 4 (ワークプラザ)	乗合バス利用実態調査講習会
	R 6 . 7 . 5 (江田島コミュ ニティセンター)	安全衛生講習会

会 議 名	開 催 日 等 (場 所)	内 容
講 習 会	R 6 . 1 0 . 2 8 (ワークプラザ)	交通安全講習会
	R 6 . 1 1 . 1 2 (福岡市)	令和 6 年度派遣元責任者講習
	R 6 . 1 2 . 1 7 (大阪市)	令和 6 年度職業紹介責任者講習
	R7. 3. 12~3. 13 (ワークプラザ) (高田栈橋)	剪定講習会

2 広報活動

広 報 名 称	発 行 日	内 容
シルバー江田島 「きらめき」 (広 報 誌)	R 6 . 7 . 1	第 6 4 号発行「きらめき」
	R 7 . 1 . 1	第 6 5 号発行「きらめき」
全 シ 協 (機 関 紙)	毎 月 発 行	月刊シルバー人材センター
	随 時	リーフレット、ポスター
県 連 合 (普及啓発資料)	随 時	リーフレット、ポスター
事務局だより	奇数月に発行	第 7 1 号～第 7 6 号発行

3 その他

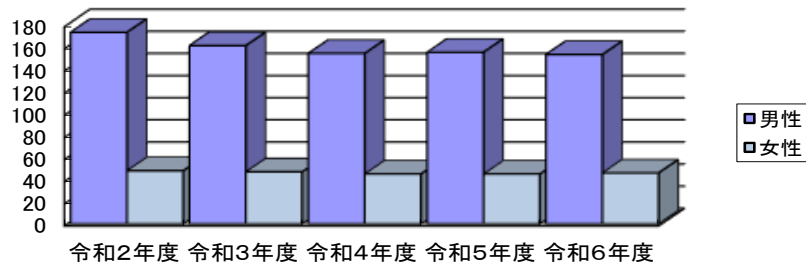
名 称	開 催 日	内 容
互 助 会 活 動	R 6 . 4 . 2 5	第 1 回互助会幹事会
	R 6 . 9 . 6	第 2 回互助会幹事会
	R 6 . 1 1 . 1 8 (海田町)	視察研修
	R 6 . 1 2 . 1 3	忘年会
	R 7 . 2 . 2	カキ祭り・島うま F E S

4 会員の現状（令和7年3月31日）

(1) 会員数

（単位：人）

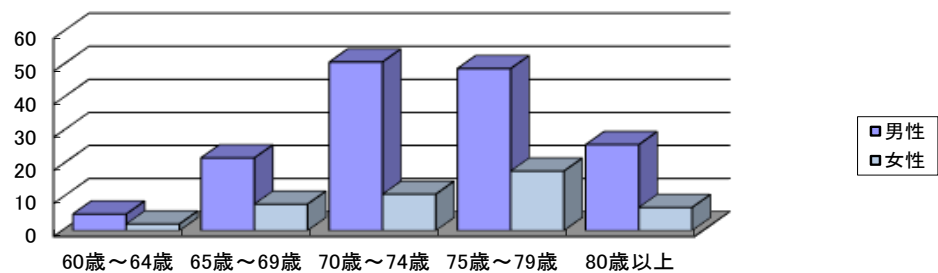
区 分	男	女	計
令和2年度	173	48	221
令和3年度	161	47	208
令和4年度	154	45	199
令和5年度	155	45	200
令和6年度	153	46	199



(2) 年齢別構成状況

（単位：人）

年齢 性別	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計	男女比 (%)
男	5	22	51	49	26	153	76.9
女	2	8	11	18	7	46	23.1
計	7	30	62	67	33	199	100.0
年齢別 比率 (%)	3.5	15.0	31.1	33.8	16.6	100.0	100.0

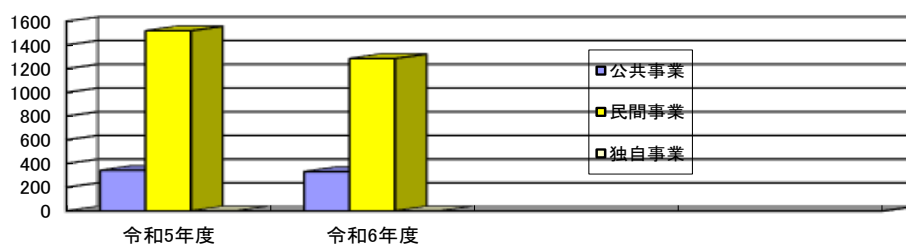


5 事業実績

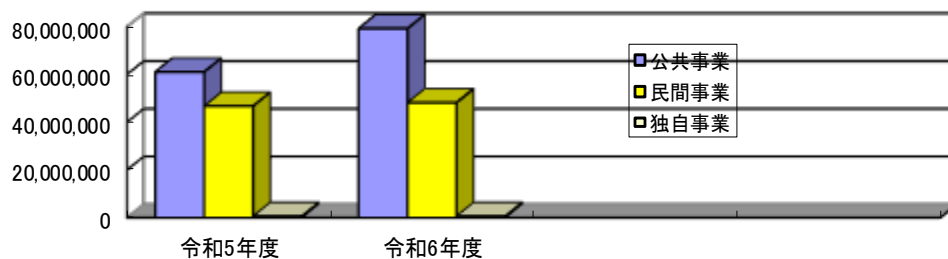
(1) 契約高及び公共と民間の割合

区 分	受注件数（件）・割合（％）				契約高（円）・割合（％）			
	令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度	
公共事業	343	18.4	332	20.5	61,113,330	56.3	79,319,434	61.9
民間事業	1,520	81.5	1,286	79.4	46,786,858	43.1	48,251,488	37.6
独自事業	1	0.1	1	0.1	611,100	0.6	621,000	0.5
計	1,864	100.0	1,619	100.0	108,511,288	100.0	128,191,922	100.0

受注件数



契約金額



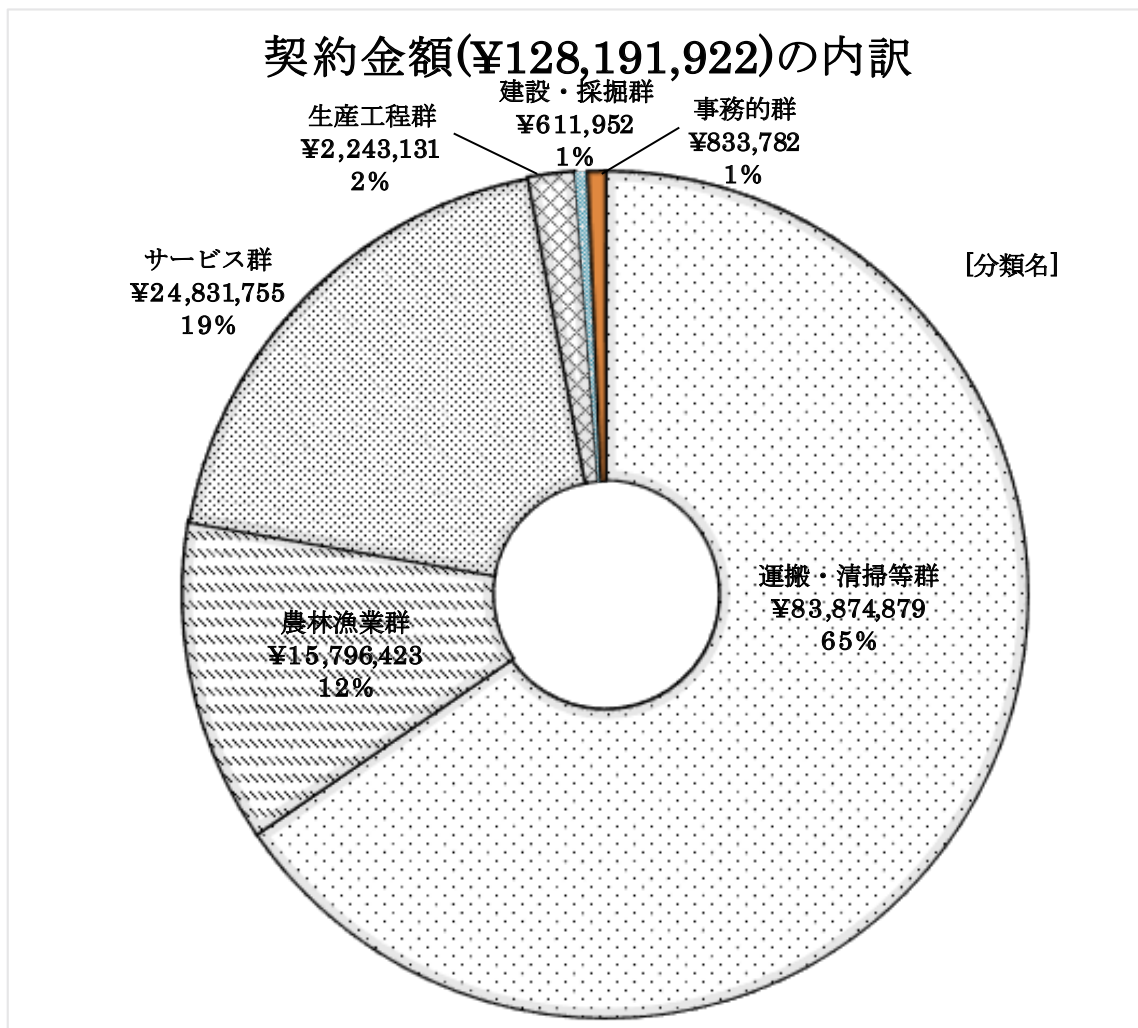
(2) 配分金及び就業延べ人員数調べ

(単位：千円・人日)

事業別配分金				事業別就業延人員			
公共	民間	独自	計	公共	民間	独自	計
57,903	34,172	508	92,583	9,587	6,950	235	16,772

(3) 職群別事業実績

職 群	受注件数 (件)	就業延人 員 (人日)	配 分 金 (円)	材 料 費 等 (円)	事 務 費 (円)	合 計 (円)
事 務 的	4	59	727,853	3,740	102,189	833,782
サ ー ビ ス	45	3,481	20,878,195	57,312	3,896,248	24,831,755
農 林 漁 業	394	1,712	12,481,283	1,226,845	2,088,295	15,796,423
生 産 工 程	85	334	1,381,951	646,639	214,541	2,243,131
運送・機械 運 転	0	0	0	0	0	0
建設・採掘	22	33	309,429	253,022	49,501	611,952
運搬・清掃 等	1,069	11,156	56,804,303	11,461,093	15,609,483	83,874,879
合 計	1,619	16,772	92,583,014	13,648,651	21,960,257	128,191,922



(4) 令和6年度事故発生状況

番号	発生年月日(曜) (時刻)	保険金支払額 (円)	事故の概要	事故原因
1	R6.4.18(木) (11時頃)	18,000 (損害保険)	大きな枝の切り落とし中、枝が回転し墓のロウソク立てにぶつかって破損。	切り落とす枝のコントロール不足。
2	R6.5.20(月) 9時頃	— 自己修繕	庭の草刈を刈払機（チップソー）で実施中、風呂建屋の壁そばにある水道管破損。	草の陰に水道管があり、気が付かなかった。損害を与えるものがあることの事前把握不足。
3	R6.5.29(水) 9時頃	142,835 (損害保険)	刈払機（ナイロンコード）で草刈時、車移動ができない車両に防護ネットをかけて作業実施。飛石がネットの上からフロントガラスに当たり破損。	防護ネットの不適切設置。
4	R6.6.3(月) 8時半頃	— 派遣先保険適用	ゴミ収集車のバック時、運転席下のウインカーを施設の柱にぶつけて破線。	バック時の確認不足。
5	R6.6.3(月) 午前中	— 自己修繕	刈払機（ナイロンコード）で風呂釜周辺の草を刈った時にケーブルの一部を破損	損害を与えるものがあることの事前把握不足。
6	R6.7.4(木) 11時頃	3,000 (傷害保険)	電動トリマーでツツジ剪定中にハチの巣を壊し、アシナガバチに手袋の上から刺された。	ハチの巣の事前確認不足。
7	R6.7.19(金) 11時頃	3,000 (傷害保険)	草刈中（草丈150cm）、ハチの巣に気づかず巣を壊し、キイロスズメバチに手袋の上から刺された。	ハチの巣の事前確認不足。
8	R6.9.18(水) 9時頃	215,490 (損害保険)	市道の草刈を刈払機（ナイロンコード）でしていたところ、車が作業近くに停車した。刈払機のエンジン回転数を落として草刈継続、飛石で車のフロントガラスを破損。	車が近づいたのに作業を中止しなかった。 防護ネット不使用。
9	R6.10.16(水) 8時20分頃	— 自己修繕	法面の草刈を刈払機で実施中、草の陰にあった民家の水道管を刈払機の刃（2枚刃）で切って破損	周囲の事前安全確認不足。
10	R6.11.19(火) 9時25分頃	— 自己修繕	バック中、助手席側のドアミラーを入口の鉄柱に接触させて破損させた。	左側確認不足
11	R6.12.23(月) 10時半頃	— 自己払い	ゴミ回収作業中、両足に力が入らなくなり転倒、その後起きることができなかった。転倒時に左手擦過傷。	原因不明
12	R7.1.8(水) 8時20分頃	— 自己修繕	住宅の庭のツタ・ツルをナイロンコードの刈払機で刈っていた。防護ネットの下側を刈った際に飛石で窓ガラスの一部を破損。	不十分な防護ネット設置。 作業者の安全確認不足。
13	R7.2.20(木) 9時頃	— 自己修繕	枝をハンディソーで切り落とし中、急に枝が落ちてきて軽ダンプのフロントガラスに当たり破損。	切り落とす枝のコントロール不足。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	10,763,028	9,728,730	1,034,298
未収金	8,607,416	7,284,153	1,323,263
立替金	0	160,070	△ 160,070
前払金	117,710	116,540	1,170
流動資産計	19,488,154	17,289,493	2,198,661
2 固定資産			
(1) 特定資産			
消費税納付額増加対策資金積立資産	3,707,000	3,707,000	0
特定資産計	3,707,000	3,707,000	0
(2) その他固定資産			
土 地	7,200,000	7,200,000	0
建 物	435,559	528,233	△ 92,674
車両運搬具	511,514	999,089	△ 487,575
什器備品	510,244	637,762	△ 127,518
電話加入権	167,272	167,272	0
預託金	102,790	102,790	0
その他の固定資産計	8,927,379	9,635,146	△ 707,767
固定資産計	12,634,379	13,342,146	△ 707,767
資産合計	32,122,533	30,631,639	1,490,894
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	8,645,392	6,789,742	1,855,650
預り金	359,959	600,162	△ 240,203
流動負債計	9,005,351	7,389,904	1,615,447
2 固定負債			
固定負債計	0	0	0
負債合計	9,005,351	7,389,904	1,615,447
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
(うち、基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち、特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	23,117,182	23,241,735	△ 124,553
(うち、基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち、特定資産への充当額)	(3,707,000)	(3,707,000)	(0)
正味財産合計	23,117,182	23,241,735	△ 124,553
負債及び正味財産合計	32,122,533	30,631,639	1,490,894

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	128,191,922	108,511,288	19,680,634
受取配分金	92,583,014	75,680,400	16,902,614
受取材料費等	13,648,651	12,182,293	1,466,358
受取事務費	21,960,257	20,648,595	1,311,662
指定管理事業等受託収益	2,151,320	2,516,810	△ 365,490
指定管理事業等受託収益	2,151,320	2,516,810	△ 365,490
労働者派遣事業等受託収益	1,089,167	1,223,079	△ 133,912
労働者派遣事業等受託収益	1,089,167	1,223,079	△ 133,912
受取会費	405,500	391,500	14,000
正会員受取会費	392,000	376,000	16,000
ゴールド会員受取会費	13,000	15,000	△ 2,000
特別会員受取会費	500	500	0
受取補助金等	27,975,600	28,851,200	△ 875,600
受取連合交付金	12,739,000	13,239,000	△ 500,000
受取地方公共団体補助金	15,236,600	15,612,200	△ 375,600
特定資産運用益	67	54	13
特定資産受取利息	67	54	13
雑収益	428,354	660,753	△ 232,399
受取利息	8,409	88	8,321
受取保険金	376,325	603,500	△ 227,175
雑収益	43,620	57,165	△ 13,545
経常収益計	160,241,930	142,154,684	18,087,246
(2) 経常費用			
事業費	158,095,511	139,442,998	18,652,513
支払配分金	92,583,014	75,680,400	16,902,614
支払材料費等	13,648,651	12,182,293	1,466,358
役員報酬	665,000	1,140,000	△ 475,000
給料手当	24,442,633	23,984,629	458,004
臨時雇賃金	420,792	546,551	△ 125,759
法定福利費	3,828,650	3,339,384	489,266
退職給付費用	2,158,362	2,144,700	13,662
福利厚生費	33,346	44,605	△ 11,259
会議費	34,810	44,980	△ 10,170
旅費交通費	815,480	905,090	△ 89,610
通信運搬費	1,682,157	1,670,021	12,136
減価償却費	702,892	1,415,147	△ 712,255
什器備品費	32,500	0	32,500
消耗品費	712,389	856,466	△ 144,077
修繕費	1,184,074	1,081,844	102,230
印刷製本費	651,816	688,996	△ 37,180
光熱水料費	1,863,598	1,932,902	△ 69,304
賃借料	2,262,700	2,095,782	166,918
保険料	1,486,400	1,437,140	49,260

科 目	当年度	前年度	増 減
諸謝金	2,734,498	2,818,501	△ 84,003
租税公課	2,844,200	1,280,550	1,563,650
支払負担金	0	5,000	△ 5,000
委託費	2,215,047	2,770,854	△ 555,807
教材費	6,820	25,905	△ 19,085
支払手数料	177,207	187,191	△ 9,984
燃料費	447,182	454,450	△ 7,268
損害賠償金	376,325	603,500	△ 227,175
雑 費	84,968	106,117	△ 21,149
管理費	2,270,972	2,116,963	154,009
役員報酬	296,000	246,000	50,000
給料手当	1,286,456	1,262,176	24,280
法定福利費	93,793	62,751	31,042
退職給付費用	29,160	19,440	9,720
福利厚生費	27,864	19,214	8,650
会議費	47,677	48,816	△ 1,139
役員等旅費交通費	61,660	47,900	13,760
通信運搬費	59,565	39,870	19,695
減価償却費	4,875	5,363	△ 488
消耗品費	4,721	4,690	31
印刷製本費	10,000	8,998	1,002
光熱水料費	8,096	8,305	△ 209
租税公課	0	21,000	△ 21,000
支払負担金	340,500	322,000	18,500
支払手数料	605	440	165
経常費用計	160,366,483	141,559,961	18,806,522
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 124,553	594,723	△ 719,276
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 124,553	594,723	△ 719,276
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	2	△ 2
什器備品除却損	0	2	△ 2
経常外費用計	0	2	△ 2
当期経常外増減額	0	△ 2	2
当期一般正味財産増減額	△ 124,553	594,721	△ 719,274
一般正味財産期首残高	23,241,735	22,647,014	594,721
一般正味財産期末残高	23,117,182	23,241,735	△ 124,553
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	23,117,182	23,241,735	△ 124,553

正味財産増減計算書内訳表
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	シルバー人材センター事業				
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受託事業収益	126,116,950	2,074,972	0	128,191,922	
受取配分金	92,583,014			92,583,014	
受取材料料費等	13,648,651			13,648,651	
受取事務費	19,885,285	2,074,972		21,960,257	
指定管理事業等受託収益	2,151,320	0	0	2,151,320	
指定管理事業等受託収益	2,151,320			2,151,320	
労働者派遣事業等受託収益	1,089,167	0	0	1,089,167	
労働者派遣事業等受託収益	1,089,167			1,089,167	
受取会費	209,500	196,000	0	405,500	
正会員受取会費	196,000	196,000		392,000	
ゴールド会員受取会費	13,000			13,000	
特別会員受取会費	500			500	
受取補助金等	27,975,600	0	0	27,975,600	
受取連合交付金	12,739,000			12,739,000	
受取地方公共団体補助金	15,236,600			15,236,600	
特定資産運用益	67	0	0	67	
特定資産受取利息	67			67	
雑収益	428,354	0	0	428,354	
受取利息	8,409			8,409	
受取保険金	376,325			376,325	
雑収益	43,620			43,620	
経常収益計	157,970,958	2,270,972	0	160,241,930	

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	シルバー人材センター事業				
(2) 経常費用					
事業費	158,819,601	0	0	0	158,095,511
支払配分金	92,583,014				92,583,014
支払材料費等	13,648,651				13,648,651
役員報酬	665,000				665,000
給料手当	24,442,633				24,442,633
臨時雇賃金	420,792				420,792
法定福利費	3,828,650				3,828,650
退職給付費用	2,158,362				2,158,362
福利厚生費	33,346				33,346
会議費	34,810				34,810
旅費交通費	815,480				815,480
通信運搬費	1,682,157				1,682,157
減価償却費	702,892				702,892
什器備品費	32,500				32,500
消耗品費	712,389				712,389
修繕費	1,184,074				1,184,074
印刷製本費	651,816				651,816
光熱水料費	1,863,598				1,863,598
賃借料	2,262,700				2,262,700
保険料	1,486,400				1,486,400
諸謝金	2,734,498				2,734,498
租税公課	2,844,200				2,844,200
委託費	2,215,047				2,215,047
教材費	6,820				6,820
支払手数料	177,207				177,207
燃料費	447,182				447,182
損害賠償金	376,325				376,325
雑 費	84,968				84,968

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	シルバーク人材センター事業				
管理費			2,270,972	0	2,270,972
役員報酬			296,000		296,000
給料手当			1,286,456		1,286,456
法定福利費			93,793		93,793
退職給付費用			29,160		29,160
福利厚生費			27,864		27,864
会議費			47,677		47,677
役員等旅費交通費			61,660		61,660
通信運搬費			59,565		59,565
減価償却費			4,875		4,875
消耗品費			4,721		4,721
印刷製本費			10,000		10,000
光熱水料費			8,096		8,096
支払負担金			340,500		340,500
支払手数料			605		605
経常費用計			158,095,511	2,270,972	0
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 124,553	0	0	△ 124,553	
評価損益等計	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 124,553	0	0	△ 124,553	
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	シルバーク人材センター事業				
当期一般正味財産増減額		△ 124,553	0	0	△ 124,553
一般正味財産期首残高		8,411,450	14,830,285	0	23,241,735
一般正味財産期末残高		8,286,897	14,830,285	0	23,117,182
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高		8,286,897	14,830,285	0	23,117,182

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により減価償却を実施している。

(2) リース取引の処理方法

重要性の乏しい所有権移転外ファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法により計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
消費税納付額増加対策資金積立資産	3,707,000	3,000,000	3,000,000	3,707,000
計	3,707,000	3,000,000	3,000,000	3,707,000

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
特定資産				
消費税納付額増加対策資金積立資産	3,707,000	(0)	(3,707,000)	(-)
計	3,707,000	(0)	(3,707,000)	(-)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	3,608,466	3,172,907	435,559
車両運搬具	13,135,720	12,624,206	511,514
什器備品	5,411,550	4,901,306	510,244
合 計	22,155,736	20,698,419	1,457,317

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額は、次のとおりである。 (単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
高齢者就業機会確保事業費等補助金	(公社)広島県シルバー人材センター連合会	0	5,339,000	5,339,000	0	—
雇用開発支援事業費等補助金	(公社)広島県シルバー人材センター連合会	0	7,400,000	7,400,000	0	—
江田島市シルバー人材センター補助金	江田島市	0	15,236,600	15,236,600	0	—
合 計		0	27,975,600	27,975,600	0	

附属明細書

1 特定資産

特定資産の明細は、「財務諸表に対する注記」に記載している。

2 引当金の明細

該当なし。

財 産 目 録
令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	現金・手元保管	運転資金として	237,940
		振替口座 ゆうちょ銀行・江田島支店	運転資金として	90,556
		普通預金 広島銀行・江田島支店	運転資金として	10,329,585
		普通預金 広島銀行・江田島支店	運転資金として 法人管理	104,947
	未収金	江田島市役所ほか	契約金額ほか	7,567,217
		江田島市役所ほか	契約金額法人会計事務費 法人管理	1,040,199
	前払金	保険会社への前払金	令和7年度分役員賠償責任保険料	58,000
		保険会社への前払金	令和7年度分個人情報漏えい保険料	59,710
流動資産合計				19,488,154
(固定資産)				
特定資産	消費税納付額増加 対策資金積立資産	定期預金 広島銀行・江田島支店	公益目的事業の積立財産であり、消費税納付額増加 対策資金積立金として管理されている預金。	3,707,000
その他固定資産	土 地	江田島市江田島町中央一丁 目17950番地1ほか3箇所 チップヤード1273㎡	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	7,200,000
	建 物	倉庫ほか 本所・支所	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	435,559
	車両運搬具	軽ダンプ5193ほか15台	共有財産であり、うち99%は公益目的保有財産として 公1事業の用に供し、1%は管理運用の用に供している。	511,514
	什器備品	マイクロショベルほか	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	510,244
	電話加入権	0823-42-5211 他2回線	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	167,272
	預託金	自動車リサイクル料金	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用して いる。	102,790
固定資産合計				12,634,379
資 産 合 計				32,122,533
(流動負債)				
	未払金	会員に対するもの	公益目的事業に供する配分金の未払い分	6,762,314
		舩上石油ほか 業者に対するもの	公益目的事業に供する材料費等の未払い分	288,697
		新星工業社ほか 業者に対するもの	公益目的事業に供する業務委託料等の未払い分	1,594,381
	預り金	職員社会保険料等	職員からの社会保険料・源泉所得税預り分	275,217
		報酬所得税	チップ事業等及び講習会講師謝金に係る所得税預り分	84,742
流動負債合計				9,005,351
(固定負債)				
固定負債合計				0
負 債 合 計				9,005,351
正 味 財 産				23,117,182

収 支 計 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	133,197,000	128,191,922	5,005,078
受取配分金	92,638,000	92,583,014	54,986
受取材料費等	14,854,000	13,648,651	1,205,349
受取事務費	25,705,000	21,960,257	3,744,743
指定管理事業等受託収益	3,081,000	2,151,320	929,680
指定管理事業等受託収益	3,081,000	2,151,320	929,680
労働者派遣事業等受託収益	1,268,000	1,089,167	178,833
労働者派遣事業等受託収益	1,268,000	1,089,167	178,833
受取会費	457,000	405,500	51,500
正会員受取会費	440,000	392,000	48,000
ゴールド会員受取会費	15,000	13,000	2,000
特別会員受取会費	1,000	500	500
賛助会員受取会費	1,000	0	1,000
受取補助金等	27,958,000	27,975,600	△ 17,600
受取連合交付金	12,739,000	12,739,000	0
受取地方公共団体補助金	15,219,000	15,236,600	△ 17,600
受取負担金	1,000	0	1,000
受取負担金	1,000	0	1,000
受取寄付金	1,000	0	1,000
受取寄付金	1,000	0	1,000
特定資産運用益	1,000	67	933
特定資産受取利息	1,000	67	933
雑収益	427,000	428,354	△ 1,354
受取利息	1,000	8,409	△ 7,409
受取保険金	377,000	376,325	675
雑収益	49,000	43,620	5,380
経常収益計	166,391,000	160,241,930	6,149,070
(2) 経常費用			
事業費	162,081,000	158,095,511	3,985,489
支払配分金	92,638,000	92,583,014	54,986
支払材料費等	14,854,000	13,648,651	1,205,349
役員報酬	670,000	665,000	5,000
給料手当	24,714,000	24,442,633	271,367
臨時雇賃金	564,000	420,792	143,208
法定福利費	3,831,000	3,828,650	2,350

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
退職給付費用	2,325,000	2,158,362	166,638
福利厚生費	49,000	33,346	15,654
会議費	40,000	34,810	5,190
旅費交通費	819,000	815,480	3,520
通信運搬費	1,822,000	1,682,157	139,843
減価償却費	1,427,000	702,892	724,108
什器備品費	34,000	32,500	1,500
消耗品費	916,000	712,389	203,611
修繕費	1,404,000	1,184,074	219,926
印刷製本費	718,000	651,816	66,184
光熱水料費	1,994,000	1,863,598	130,402
賃借料	2,295,000	2,262,700	32,300
保険料	1,520,000	1,486,400	33,600
諸謝金	3,138,000	2,734,498	403,502
租税公課	2,875,000	2,844,200	30,800
委託費	2,238,000	2,215,047	22,953
教材費	7,000	6,820	180
支払手数料	181,000	177,207	3,793
燃料費	488,000	447,182	40,818
損害賠償金	377,000	376,325	675
雑 費	143,000	84,968	58,032
管理費	2,606,000	2,270,972	335,028
役員報酬	296,000	296,000	0
給料手当	1,352,000	1,286,456	65,544
法定福利費	175,000	93,793	81,207
退職給付費用	30,000	29,160	840
福利厚生費	28,000	27,864	136
会議費	49,000	47,677	1,323
役員等旅費交通費	62,000	61,660	340
通信運搬費	60,000	59,565	435
減価償却費	5,000	4,875	125
消耗品費	5,000	4,721	279
印刷製本費	10,000	10,000	0
光熱水料費	44,000	8,096	35,904
租税公課	125,000	0	125,000
支払負担金	349,000	340,500	8,500
支払手数料	9,000	605	8,395
雑費	7,000	0	7,000
経常費用計	164,687,000	160,366,483	4,320,517
評価損益等調整前当期経常増減額	1,704,000	△ 124,553	1,828,553
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,704,000	△ 124,553	1,828,553

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,704,000	△ 124,553	1,828,553
一般正味財産期首残高	23,241,735	23,241,735	0
一般正味財産期末残高	24,945,735	23,117,182	1,828,553
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	24,945,735	23,117,182	1,828,553

収支計算書に対する注記

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
【投資活動の部】			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
消費税納付額増加対策資金積立資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
投資活動収入計	3,000,000	3,000,000	0
(投資活動支出)			
特定資産取得支出	3,000,000	3,000,000	0
消費税納付額増加対策資金積立資産	3,000,000	3,000,000	0
投資活動支出計	3,000,000	3,000,000	0
【財務活動の部】			0
(財務活動収入)			0
財務活動収入計	0	0	0
(財務活動支出)			0
財務活動支出計	0	0	0

監 査 報 告 書

令和7年4月30日

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 渡 辺 高 久 様

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター

監 事 土手光洋 
監 事 川尻博文 

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本所及び支所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、現金、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 人為的ミスによる事故が多発しているので、事故防止に万全を期していただきたい。

第 4 号議案

理事及び監事の選任の件

公益社団法人江田島市シルバー人材センター定款第 23 条第 1 項の規定に基づき、理事を次のとおり選任したいので、総会の議決を求める。

令和 7 年 5 月 30 日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 渡 辺 高 久

理事及び監事候補者名簿(案)

役 職 名	氏 名
理 事	渡 辺 高 久
理 事	山 崎 哲 男
理 事	平 本 行 寛
理 事	田 尾 賢 二
理 事	大 下 郁 美
理 事	佐 藤 克 志
理 事	花 尾 アツ 淳
理 事	原 田 ユ 祐 二
理 事	香 川 裕 ヨ 子
理 事	川 霜 博 ミチ 道
理 事	堀 和 トリ 利
理 事	宇 根 タミ ヨ 子
理 事	住 田 ナオ キ 記
理 事	佐 山 サ ユ リ 百合
外 部 理 事	竹 本 マス ミ 美
常 務 理 事	志 茂 ノリ ユキ 幸
監 事	土 手 ミツ ヒロ 洋
外 部 監 事	川 尻 博 フミ 文

(役員の任期は、令和7年5月30日から令和9年5月総会の日まで)

第 5 号議案

理事長に対する権限委任の承認の件

本日の決議のうち、次に該当する字句修正等の権限を理事長に委任することについて、総会の承認を求める。

- 1 会員の権利義務に関しない軽微な字句の修正並びに違算又は誤字の修正
- 2 行政庁の指示による修正

令和 7 年 5 月 3 0 日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 渡 辺 高 久

第 2 号報告

令和 7 年度事業計画の件

公益社団法人江田島市シルバー人材センターの令和 7 年度事業計画について、定款第 4 2 条第 1 項の規定に基づき、総会へ報告する。

令和 7 年 5 月 3 0 日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 渡 辺 高 久

令和7年度事業計画書

はじめに

日本人口の現状は、令和7年2月1日現在で1億2,354万人と推計され、前年同月比で約57万人の減少となる見込みであり、65歳以上の人口は3,622万人、高齢化率29.3%と超高齢化社会となっています。

加えて、日本の人口減少は加速しており、2025年では約1億2,326万人、2045年で12%の減少が見込まれ、2065年には、現在の約74%（約9,159万人）まで減少し、同年の高齢化率も約38%と見込まれていることから、政府は異次元の少子化対策及び高齢化対策に取り組むとしております。

人手不足や後継者不足は日本経済の発展にとって重大な阻害要因であり、地方自治においても存続の危機を迎えることが懸念され、少子高齢化が深刻な課題となっています。

加えて、世界各所での戦争に伴い、世界情勢が不安定な状況にあり、世界経済は大きく揺らぎ始めています。

政府においては、この不安定化を増す経済情勢の中にあって、日本経済の活性化及び人手不足の解消策として、企業における65歳定年を義務化し、更には、70歳までの雇用を努力義務とすると共に、企業に対する賃上げ誘導や、非正規雇用者の処遇改善等に対する多方面での施策を推進しております。

このような状況の中、全国シルバー人材センター事業協会におきましては、平成30年3月から「第2次100万人計画」を策定しておりましたが、令和7年度からの6年間で「純増会員10万人増」が目標となり、江田島市シルバー人材センターとしては、「会員純増34人超」を目標として、高齢者が今までに培った技能や経験を活かし、新たな就業先で働くことの喜びと健康保持を通じ、元気な地域社会を築くことを目指しております。

しかしながら、入会希望者の減少に歯止めがかからず、かつ、会員の高齢化による退会者の増加等が起因し、シルバー人材センターの会員数は減少傾向にあります。

加えて、今後予想される70歳定年延長を視野にいますと、シルバー人材センターの会員加入及び就業開拓には、80歳から90歳でも働ける、新たな発想と手法が必要となる時期が到来しています。

当シルバー人材センターにおいても、会員加入促進を図るために、「会員拡大・就業開拓部会」や「女性部会」等を設置し、3年間にわたり実施した先進地視察を踏まえ、新たな視野で今後の江田島市シルバー人材センターを築いていきたいと考えております。

その一環として、女性会員の加入促進を主眼に、各種イベントに参加し江田島市シルバー人材センター互助会により、シルバー事業のPR活動を実施しました。

他方、令和5年10月から施行された「インボイス制度」及び、江田島市の財政状況が大変厳しい現状において、令和5年度から補助金の減額が実施され、令和6年度も減額されており、令和5年度において事務費率の改定を実施し、令和6年度は諸物価高騰による見積基準の改定を発

注者様にお願いすることにより、財政の健全な運営を図ることといたしました。

今後も、シルバー人材センターの基本であります【自主・自立、共働・共助】を認識し、【臨・短・軽】の適正就業を順守しつつ、フリーランス法に伴う新たな契約方法への移行、令和7年度から実施される公益法人制度の改正に伴う「財政規律の柔軟化・明確化」による財源の弾力的運用などを有効活用し、公益社団法人の根幹であります【収支相償】に則った財政運営に努めてまいります。

他方、受注業務については、市民ニーズの多様化に対応できるよう、常に新たなチャレンジ精神を持ち、市民の皆様からの『信頼と信用』を得、発注者の方々に感謝されるシルバー人材センターとなるよう日々努力してまいります。

これらの点を踏まえ、執行部及び職員並びに会員一同全力で、次の重点事項に取り組んでまいります。

1 会員拡大・就業開拓について

(1) 会員拡大・就業開拓部会の活動

政府が進めている「生涯現役社会」に基づき、高齢者雇用安定法が改正され、70才までの就業機会の確保が企業に努力義務化される中、シルバー人材センターの会員拡大及び就業の場の確保については、80歳から90歳でも就業が可能となる、新たな視点に立って事業展開を行う動きが高まっています。

当シルバー人材センターでは、会員拡大・就業開拓部会の活動を推進員の協力を得つつ、機会あるごとに各種会合等を個別に訪問し、シルバー事業の周知及び過疎化する地域におけるシルバー事業の必要性を訴えてまいります。

加えて、関係機関等との連携を図り、市民ニーズや企業のニーズに沿った就業機会の確保と併せて定年後の魅力あるシルバー事業を展開することにより、会員加入促進を図ってまいります。

(2) 女性部会の活動

全国のシルバー人材センターにおいては、会員拡大の中心的要因が女性会員の加入促進であることに着目し、女性高齢者が魅力を持てるように多面的な就業開拓を実施しております。

当シルバー人材センターにおいても、女性部会を活性化し、女性に魅力あるシルバー事業は何なのかを検討し、一昨年から開始した「ふれあいサロン」などにより、市内の女性との情報交換を通じて、新たなシルバー事業を展開することにより、女性会員の加入促進を図ってまいります。

他方、女性部会員が自ら企画することについては、事務局がしっかりサポートし、事業展開をする中で試行錯誤を繰り返して、持続可能な事業としてまいります。

2 安全・適正就業について

(1) 安全就業について

ヒューマンエラーが避けられない現状において、本年度も安全就業の基本を徹底的に周知するため、新規加入会員を対象とした「安全・衛生就業研修会」を実施することはもとより、

一般作業に従事する全ての会員を対象とした、「安全・衛生就業研修会」を年2回程度開催し、マンネリ化する就業状況について、安全作業の基本と必要性を強力的に研修するとともに、一般作業班長連絡会議を通じて、事故報告と事故要因、事故防止の周知を図り、全力で作業の安全確保に努めてまいります。

更に、安全講習会の重要性に鑑み、専門的な知識を有する外部講師を招へいし、講習会を実施します。

(2) 適正就業について

会員加入促進を図ることにより、シルバー事業の基本であります「臨・短・軽」の徹底を図るように努めてまいります。

3 広報活動の推進について

(1) シルバー江田島「きらめき」の充実

広報活動の強化策として、広報委員会においてシルバー江田島「きらめき」の更なる内容の充実を図ります。

特に、シルバー会員の活動内容の周知について工夫をし、読者の方に理解し易くかつ心に残る広報誌となるように努めてまいります。

(2) 講習会等の開催について

ア 女性部会を中心とした、市民と会員が共に学ぶ講習会等を開催し、地域における女性活躍社会実現の一翼を担えるような活動を行ってまいります。

イ 草刈作業及び剪定作業の後継者育成を念頭に、作業従事者の増員を図ります。

(3) 広報活動について

各種会合並びに各種イベント等で、シルバー事業の周知及過疎高齢化する地域においてシルバー事業の必要性を訴え、会員の拡大を図ります。

本年度は、江田島市と連携し、有効な情報発信により密接なPRを実施するよう検討します。

4 児童夏休みミニキャンプの継続について

令和5年度から実施しております「児童夏休みミニキャンプ」が大変好評だったことを踏まえ、本年度も、真道山森林公園の活性化の一環として会員と児童が交流する「児童夏休みミニキャンプ」を実施し、更なる真道山森林公園の利用促進を図るとともに、シルバー事業のPRに努めてまいります。

5 その他

会員自らが、シルバー事業での就業を通じて「生きがい（社会参加）、仲間づくり、健康維持・増進」等を再認識し、働くことへの喜びや楽しみを市民の皆様へPRすることにより、一人でも多くの高齢者がシルバー人材センターに魅力を持ち、ともに過疎高齢化する地域を自分達の手で活性化しようとする動きが出てくることへの働きかけが大切なこととなります。そのために、執行部はもとより、職員及び会員一同全力で魅力あるシルバー事業が展開できるよう努めてまいります。

第 3 号報告

令和 7 年度収支予算並びに令和 7 年度資金 調達及び設備投資の見込みの件

公益社団法人江田島市シルバー人材センターの令和 7 年度
収支予算並びに令和 7 年度資金調達及び設備投資の見込みに
ついて、定款第 4 2 条第 1 項の規定に基づき、総会へ報告する。

令和 7 年 5 月 3 0 日提出

公益社団法人 江田島市シルバー人材センター
理事長 渡 辺 高 久

令和7年度収支予算書（損益ベース）
令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで

（単位：円）

	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	3,895,000	118,697,000	△ 114,802,000
受取配分金	3,656,000	77,638,000	△ 73,982,000
受取材料費等	135,000	19,854,000	△ 19,719,000
受取事務費	104,000	21,205,000	△ 21,101,000
包括的契約に係る収益	37,065,000	0	37,065,000
受取センター業務委託料	23,552,000	0	23,552,000
受取材料費等	13,513,000	0	13,513,000
指定管理事業等受託収益	2,381,000	3,081,000	△ 700,000
指定管理事業等受託収益	2,381,000	3,081,000	△ 700,000
労働者派遣事業等受託収益	1,048,000	1,268,000	△ 220,000
労働者派遣事業等受託収益	1,048,000	1,268,000	△ 220,000
受取会費	417,000	457,000	△ 40,000
正会員受取会費	400,000	440,000	△ 40,000
ゴールド会員受取会費	15,000	15,000	0
特別会員受取会費	1,000	1,000	0
賛助会員受取会費	1,000	1,000	0
受取補助金等	27,810,000	27,958,000	△ 148,000
受取連合交付金	12,665,000	12,739,000	△ 74,000
受取市補助金	15,145,000	15,219,000	△ 74,000
受取負担金	1,000	1,000	0
受取負担金	1,000	1,000	0
受取寄附金	1,000	1,000	0
受取寄附金	1,000	1,000	0
特定資産運用益	1,000	1,000	0
特定資産運用益	1,000	1,000	0
雑収益	51,000	51,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
受取保険金	1,000	1,000	0
雑収益	49,000	49,000	0
経常収益計	72,670,000	151,515,000	△ 78,845,000
(2) 経常費用			
事業費	71,048,000	151,200,000	△ 93,665,000
支払配分金	3,656,000	77,638,000	△ 73,982,000
支払材料費等	135,000	19,854,000	△ 19,719,000
支払材料費等(包括的契約に係るもの)	13,513,000	0	
役員報酬	912,000	1,140,000	△ 228,000
給料手当	25,193,000	25,714,000	△ 521,000
臨時雇賃金	473,000	564,000	△ 91,000
法定福利費	3,814,000	3,331,000	483,000
退職給付費用	2,417,000	2,310,000	107,000
福利厚生費	49,000	49,000	0
会議費	40,000	40,000	0
旅費交通費	727,000	419,000	308,000
通信運搬費	1,955,000	1,822,000	133,000
減価償却費	1,427,000	1,427,000	0
什器備品費	2,000	2,000	0
消耗品費	671,000	816,000	△ 145,000
修繕費	1,013,000	1,284,000	△ 271,000
印刷製本費	685,000	718,000	△ 33,000
光熱水料費	1,982,000	1,944,000	38,000
賃借料	2,317,000	2,075,000	242,000
保険料	1,508,000	1,520,000	△ 12,000
諸謝金	2,904,000	3,108,000	△ 204,000
租税公課	2,653,000	2,375,000	278,000
委託費	2,236,000	2,236,000	0
教材費	1,000	1,000	0
支払手数料	153,000	181,000	△ 28,000

(単位：円)

	予算額	前年度予算額	増減
燃料費	468,000	488,000	△ 20,000
損害賠償金	1,000	1,000	0
雑費	143,000	143,000	0
管理費	4,102,000	2,555,000	1,547,000
役員報酬	324,000	252,000	72,000
給料手当	1,327,000	1,352,000	△ 25,000
法定福利費	201,000	175,000	26,000
退職給付費用	30,000	30,000	0
福利厚生費	21,000	28,000	△ 7,000
会議費	49,000	49,000	0
役員等旅費交通費	82,000	55,000	27,000
通信運搬費	71,000	60,000	11,000
減価償却費	5,000	5,000	0
消耗品費	4,000	5,000	△ 1,000
印刷製本費	10,000	10,000	0
光熱水料費	44,000	44,000	0
租税公課	140,000	125,000	15,000
委託費	1,426,000	0	1,426,000
支払負担金	353,000	349,000	4,000
支払手数料	8,000	9,000	△ 1,000
雑費	7,000	7,000	0
経常費用計	75,150,000	153,755,000	△ 78,605,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,480,000	△ 2,240,000	△ 240,000
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,480,000	△ 2,240,000	△ 240,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
前期損益修正益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却（除却）損	0	0	0
車両運搬具除去損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,480,000	△ 2,240,000	△ 240,000
一般正味財産期首残高	23,117,182	23,241,735	△ 124,553
一般正味財産期末残高	20,637,182	21,001,735	△ 364,553
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	20,637,182	21,001,735	△ 364,553

収支予算に係る注記

- 1 配分金収入の増加に連動する支出（支払配分金、支払材料費等）に限り、予算を超えて執行することができる。

収支予算書に係る注記

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

1 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
【投資活動収支の部】			
〈投資活動収入〉			
固定資産売却収入	0	0	0
車両運搬具売却収入	0	0	0
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0
預託金戻り収入	0	0	0
特定資産取崩収入	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
固定資産取得資金取崩収入	0	0	0
消費税納付額増加対策資金取崩収入	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
投資活動収入計	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
〈投資活動支出〉			
固定資産取得支出	0	0	0
車両運搬具購入支出	0	0	0
什器備品購入支出	0	0	0
敷金・保証金等支出	0	0	0
預託金支出	0	0	0
特定資産取得支出	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
消費税納付額増加対策資金積立金	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
投資活動支出計	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
【財務活動収支の部】			
〈財務活動収入〉			
借入金収入	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
〈財務活動支出〉			
借入金返済支出	0	0	0
短借入金期返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
財務活動支出	0	0	0

2 借入金限度額

令和7年度における短期借入金限度額は、1,000万円とする。

3 債務負担額

シルバー21システム及びカラー複合機等のリース契約による債務負担額は、次のとおりとする。

事 項	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
シルバー21 システム(サーバー・パソコン等)	1,145,760円	1,145,760円	572,880円	
シルバー21 システム(業務ソフト)	4,180円			
シルバー21 システム(本所3台ソフト)	150,480円			
シルバー21 システム(見積ソフト)	95,040円	95,040円		
シルバー21 システム(本所パソコン)	59,400円	44,550円		
シルバー21 (業務用ノートパソコンソフト)	100,320円	100,320円	100,320円	41,800円
カラー複合機 (本所)	232,320円	232,320円	232,320円	96,800円
カラー複合機 (支所)	104,280円	86,900円		
AED(自動体外式除細動器) (本所・支所)	139,920円	139,920円	69,960円	

令和7年度収支予算の事業別区分経理の内訳表（参考資料）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計（実施事業等会計）							法人会計	内部取引 控除	合 計
	シルバー人材センター事業									
	就業機会 提供事業	就業機会 確保事業	企画提案方 式事業（ハーフ ボランティア）	指定管理受託事業 真道山管理受託事業	チップリサ イクル事業	計				
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受託事業収益	27,742,000	68,000	97,000	2,987,000	0	3,868,000	27,000	0	3,895,000	
受取配分金	581,000	0	88,000	2,987,000	0	3,656,000	0	0	3,656,000	
受取材料費等	135,000	0	0	0	0	135,000	0	0	135,000	
受取事務費	0	68,000	9,000	0	0	77,000	27,000	0	104,000	
包括的契約に係る就役	13,513,000	19,677,000	0	0	0	33,190,000	3,875,000		37,065,000	
受取センター業務委託料	0	19,677,000	0	0	0	19,677,000	3,875,000		23,552,000	
受取材料費等	13,513,000	0	0	0	0	13,513,000	0		13,513,000	
指定管理事業等受託収益	0	0	0	2,381,000	0	2,381,000	0	0	2,381,000	
指定管理事業等受託収益	0	0	0	2,381,000	0	2,381,000	0	0	2,381,000	
労働者派遣事業等受託収益	0	1,048,000	0	0	0	1,048,000	0	0	1,048,000	
労働者派遣事業等受託収益	0	1,048,000	0	0	0	1,048,000	0	0	1,048,000	
受取会費	0	217,000	0	0	0	217,000	200,000	0	417,000	
正会員受取会費	0	200,000	0	0	0	200,000	200,000	0	400,000	
ゴールド会員会費	0	15,000	0	0	0	15,000	0	0	15,000	
特別会員受取会費	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
賛助会員受取会費	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
受取補助金等	0	25,330,000	480,000	0	0	27,810,000	0	0	27,810,000	
受取連合交付金	0	12,665,000	0	0	0	12,665,000	0	0	12,665,000	
受取市補助金	0	12,665,000	480,000	0	0	15,145,000	0	0	15,145,000	
受取負担金	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
受取負担金	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
受取寄附金	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
受取寄附金	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
特定資産運用益	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
特定資産運用益	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
雑収益	0	51,000	0	0	0	51,000	0	0	50,000	
受取利息	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
受取保険金	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	0
雑収益	0	49,000	0	0	0	49,000	0	0	49,000	
経常収益計	27,742,000	26,717,000	577,000	5,368,000	2,000,000	68,568,000	4,102,000	0	72,670,000	

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計（実施事業等会計）							法人会計	内部 取引 控除	合 計
	シルバー人材センター事業									
	就業機会 提供事業	就業機会 確保事業	企画提案方 式事業（ハーフ ボランティア）	指定管理受託事業		チップリサ イクル事業	計			
				真道山管理 受託事業						
(2) 経常費用										
事業費	14,229,000	48,721,000	577,000	5,387,000	2,134,000	71,048,000	0	0	71,048,000	
支払配分金	581,000	0	88,000	2,987,000	0	3,656,000	0	0	3,656,000	
支払材料費等	135,000	0	0	0	0	135,000	0	0	135,000	
支払材料費等（包括的契約に係るもの）	13,513,000	0	0	0	0	13,513,000	0	0	13,513,000	
役員報酬	0	912,000	0	0	0	912,000	0	0	912,000	
給料手当	0	25,193,000	0	0	0	25,193,000	0	0	25,193,000	
臨時雇賃金	0	473,000	0	0	0	473,000	0	0	473,000	
法定福利費	0	3,808,000	0	0	6,000	3,814,000	0	0	3,814,000	
退職給付費用	0	2,417,000	0	0	0	2,417,000	0	0	2,417,000	
福利厚生費	0	49,000	0	0	0	49,000	0	0	49,000	
会議費	0	40,000	0	0	0	40,000	0	0	40,000	
旅費交通費	0	727,000	0	0	0	727,000	0	0	727,000	
通信運搬費	0	1,803,000	30,000	122,000	0	1,955,000	0	0	1,955,000	
減価償却費	0	1,427,000	0	0	0	1,427,000	0	0	1,427,000	
什器備品費	0	1,000	0	1,000	0	2,000	0	0	2,000	
消耗品費	0	328,000	85,000	158,000	100,000	671,000	0	0	671,000	
修繕費	0	521,000	0	222,000	270,000	1,013,000	0	0	1,013,000	
印刷製本費	0	685,000	0	0	0	685,000	0	0	685,000	
光熱水料費	0	844,000	0	1,138,000	0	1,982,000	0	0	1,982,000	
賃借料	0	2,317,000	0	0	0	2,317,000	0	0	2,317,000	
保険料	0	1,508,000	0	0	0	1,508,000	0	0	1,508,000	
諸謝金	0	1,022,000	374,000	0	1,508,000	2,904,000	0	0	2,904,000	
租税公課	0	2,653,000	0	0	0	2,653,000	0	0	2,653,000	
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
委託費	0	1,497,000	0	739,000	0	2,236,000	0	0	2,236,000	
教材費	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
支払手数料	0	151,000	0	2,000	0	153,000	0	0	153,000	
燃料費	0	200,000	0	18,000	250,000	468,000	0	0	468,000	
損害賠償金	0	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000	
雑費	0	143,000	0	0	0	143,000	0	0	143,000	
管理費							4,102,000	0	4,102,000	
役員報酬							324,000	0	324,000	
給料手当							1,327,000	0	1,327,000	

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計（実施事業等会計）							法人会計	内部取引 控除	合 計
	シルバーク人材センター事業									
	就業機会 提供事業	就業機会 確保事業	企画提案方 式事業（ハーフ ボランティア）	指定管理受託事業		チップリサ イクル事業	計			
				真道山管理 受託事業						
法定福利費								201,000	0	201,000
退職給付費用								30,000	0	30,000
福利厚生費								21,000	0	21,000
会議費								49,000	0	49,000
役員等旅費交通費								82,000	0	82,000
通信運搬費								71,000	0	71,000
減価償却費								5,000	0	5,000
消耗品費								4,000	0	4,000
印刷製本費								10,000	0	10,000
光熱水料費								44,000	0	44,000
租税公課								140,000	0	140,000
委託費								1,426,000	0	1,426,000
支払負担金								353,000	0	353,000
支払手数料								8,000	0	8,000
雑費								7,000	0	7,000
経 常 費 用 計	14,229,000	48,721,000	577,000	5,387,000	2,134,000	71,048,000	4,102,000	75,150,000	0	75,150,000
評価損益等調整前当期経常増減額	13,513,000	△ 22,004,000	0	△ 19,000	△ 134,000	△ 2,480,000	0	△ 2,480,000	0	△ 2,480,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	13,513,000	△ 22,004,000	0	△ 19,000	△ 134,000	△ 2,480,000	0	△ 2,480,000	0	△ 2,480,000
2．経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
固定資産売却収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前期損益修正益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
固定資産売却益(除却)損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計（実施事業等会計）							法人会計	内部 取引 控除	合 計
	シルバーク人材センター事業									
	就業機会 提供事業	就業機会 確保事業	企画提案方 式事業（ハーフ ボランティア）	指定管理受託事業		チップリサ イクル事業	計			
				真道山管理 受託事業						
車両運搬具除去損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	13,513,000	△ 22,004,000	0	△ 19,000	△ 134,000	△ 2,480,000	0	0	0	△ 2,480,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	8,286,897	14,830,285	0	23,117,182	
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	5,806,897	14,830,285	0	20,637,182	
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	5,806,897	14,830,285	0	20,637,182	

令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		☒	あり	☐	なし
事業 番号	借入先	金額		使途	
公1	広島銀行江田島支店	10,000,000円		会員に対する配分金等の支払いに充てる資金として、記載金額を限度として、必要に応じて借入する。	

(2) 設備投資の見込について

設備投資の予定		☐	あり	☒	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の使途	

就 業 心 得

- 1 就業には、センター会員としての「誇り」をもって当たり、お互いに仲良く協力して就業しましょう。
- 2 就業先の往復には、交通事故のないように、十分注意しましょう。
- 3 就業先の諸規則を遵守し、事故やケガのないように注意しましょう。
- 4 自分の健康管理を十分にして、無理な健康状態では就業しないように注意しましょう。
- 5 家庭の都合や健康上の理由で約束の就業ができないときは、事前に発注者と事務局へ必ず連絡しましょう。
- 6 就業先での始業・終業時間は、正しく守りましょう。
- 7 就業先で、苦情（盗難、破損等）を受けることのないように配慮しましょう。
- 8 たとえ少量といえども、就業中の飲酒はやめましょう。
- 9 就業を通して知り得た事項は、他に漏らさないでください。
- 10 就業に際して、事故、疑問等があった場合は、速やかに事務局へ連絡しその指示を受けましょう。

安 全 心 得

- 1 就業は、安全第一を心がけ、決して無理をせず、急いだり、慌てたりしないようにしましょう。
- 2 服装、履物は、就業にあった動きやすいものにしましょう。
- 3 就業前には、軽い準備体操をして体をほぐしておきましょう。
- 4 健康には常に留意し、年に1度は健康診断を受け、健康な状態で就業しましょう。
- 5 就業の前日は、十分睡眠を取るようにしましょう。
- 6 グループ就業の際は、合図・連絡・伝達を行い、他の会員に迷惑をかけないようにしましょう。
- 7 自転車を利用する場合は、道の端を通り、段差に注意し、走行中の自動車には近寄らず、脇道から出るときは、必ず降りて左右の安全を確かめ、前方だけでなく、周囲にも気を配るようにしましょう。



公益社団法人

江田島市シルバー人材センター

(江田島市シルバーワークプラザ内)

〒737-2122 江田島市江田島町中央一丁目15番15号

TEL (0823) 42-5211 FAX (0823) 42-5051

大 柿 支 所

〒737-2213 江田島市大柿町大原1118番地の2

TEL・FAX (0823) 57-3191